

歯科診療所の院内感染対策の現状と課題を 把握するための調査報告書

令和 7 年 2 月 24 日

千葉県衛生研究所

目 次

調査の概要	1
1 開設主体	2
2 管理者の年齢	3
3 歯科診療を開始した時期	4
4 標榜診療科	5
5 広告が可能な専門医	6
6 歯科医師数・常勤	7
7 歯科医師数・非常勤	8
8 歯科衛生士数・常勤	9
9 歯科衛生士数・非常勤	10
10 歯科技工士数・常勤	11
11 歯科技工士数・非常勤	12
12 歯科助手数・常勤	13
13 歯科助手数・非常勤	14
14 事務数・常勤	15
15 事務数・非常勤	16
16 その他・常勤	17
17 その他・非常勤	18
18 年齢階級別1日の平均的な患者数	19
19 歯科ユニット数	20
20 エアタービンの本数	21
21 コントラアングルの本数	22
22 ストレートの本数	23
23 臨床研修施設の指定状況	24
24 歯初診の算定	25
25 診療時の手袋の使用	26
26 診療時の手袋の種類	27
27 診療以外の業務時の手袋の扱い	28
28 術者の個人防護用具の装着	29
29 使用済みのハンドピースの扱い	30
30 使用済みの切削用ポイントやバーの扱い	31
31 使用済みの根管治療用リーマーやファイルの扱い	32
32 使用済みの超音波スケーラーチップの扱い	33

3 3	使用済みの基本セットの扱い	3 4
3 4	オートクレーブの種類	3 5
3 5	インジケーターの使用頻度	3 6
3 6	採得した印象体の扱い	3 7
3 7	歯科技工士（歯科技工所）との間で情報共有	3 9
3 8	歯科用ユニットの使用前のフラッシング	4 0
3 9	歯科用ユニットの感染管理機能	4 1
4 0	歯科用ユニットの給水系の洗浄の消毒	4 2
4 1	歯科用ユニットの消毒やラッピング	4 4
4 2	口腔外バキュームの使用	4 5
4 3	感染対策マニュアルの作成	4 6
4 4	従業員に対する感染対策教育	4 7
4 5	マニュアルに基づく感染対策教育の回数	4 8
4 6	マニュアルに基づかない感染対策教育の回数	4 9
4 7	感染予防講習会等の医療安全講習会の参加	5 0
4 8	スタンダードプリコーション等の理解	5 1
4 9	管理者以外のスタッフへの B 型肝炎抗体測定とワクチンの接種	5 2
5 0	院内感染防止対策に必要な対策	5 3
5 1	医療安全・感染防止対策	5 4
5 2	HIV 感染者の歯科治療の受け入れ意思	5 5
5 3	過去 3 年以内での HIV 感染者に対する歯科治療の有無	5 6
5 4	HIV 感染者に対する歯科治療拒否の感想	5 7
5 5	歯科診療と感染対策についての御意見、御感想	5 8
	調査票	5 9

調査の概要

1 調査の目的

「歯科診療所における院内感染対策の現状と課題に関する研究」の一環として、歯科診療所の院内感染対策の現状と課題を把握し、歯科診療所の院内感染対策の支援を行うことを目的とする調査を行った。

2 調査項目

- (1) 歯科診療所の属性（開設主体、管理者の年齢、歯科ユニット数など）
- (2) 医療安全や感染管理等（手袋・マスク・ゴーグル、器具等の取扱い、感染対策マニュアルの作成など）
- (3) 感染防止対策に係る意識
- (4) HIV 感染者の歯科治療

3 調査対象

令和 4 年 6 月 1 日現在の千葉県歯科診療所名簿から無作為で抽出した県内に所在する歯科診療所の 800 か所

4 調査方法

郵送法（郵送配布―郵送回収）

無作為に抽出した歯科診療所に調査票を配布し、同封した返信用封筒にて回収した。

5 調査時点

令和 6 年 1 月 1 日（月）

6 調査期日

調査票発送：令和 6 年 1 月 25 日（木）

回収期限：令和 6 年 2 月 16 日（金）

7 回収状況

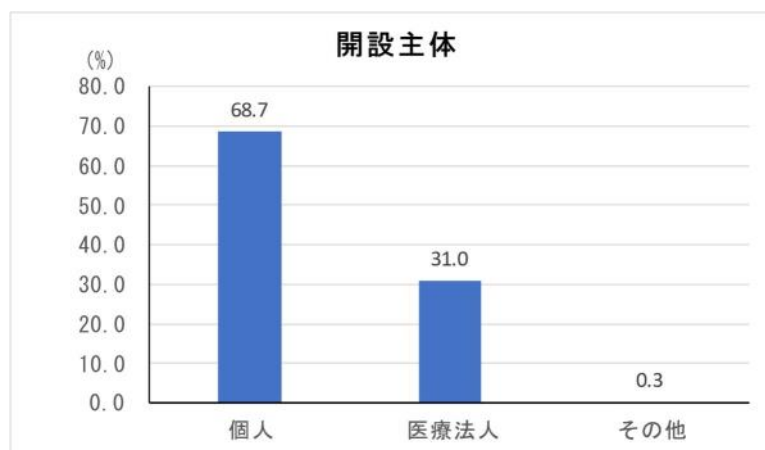
- | | |
|-------------|-------------------|
| (1) 調査対象施設数 | 800 施設 |
| (2) 回答数 | 322 施設（回収率 40.3%） |
| (3) 有効回答数 | 302 施設（回収率 37.8%） |

問 1 開設主体を教えてください。(○はひとつ)

1 個人 2 医療法人 3 その他

開設主体では、「個人」が 68.7%、「医療法人」が 31.0%、「その他」が 0.3%だった。

管理者の年齢階級別では、年齢が高くなるにつれ「個人」の割合が増加した。



n=297

年齢階級別開設主体

(単位：%)

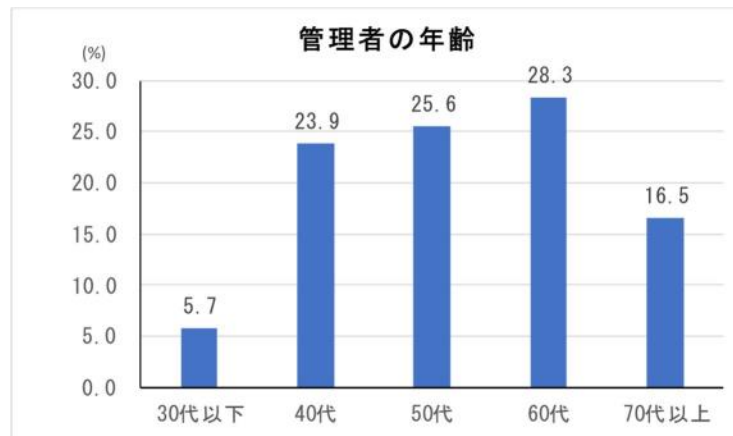
	個人	医療法人	その他	計
30代以下	47.1	52.9	0.0	100.0
40代	53.5	46.5	0.0	100.0
50代	68.4	30.3	1.3	100.0
60代	73.8	26.2	0.0	100.0
70代以上	89.8	10.2	0.0	100.0
計	68.7	31.0	0.3	100.0

問2 管理者の年齢を教えてください。(〇はひとつ)

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代 5 60代
6 70代以上

管理者の年齢では、「60代」が最も多く 28.3%、次いで「50代」が 25.6%、「40代」が 23.9%だった。

施設の歯科治療を開始した時期別では、20 年以上前が「60代」で最も多く 41.6%、6～19 年前が「40代」で最も多く 45.2%、5 年以内が「40代」で最も多く 50.0%だった。



n=297

歯科診療を開始した時期別年齢階級

(単位：%)

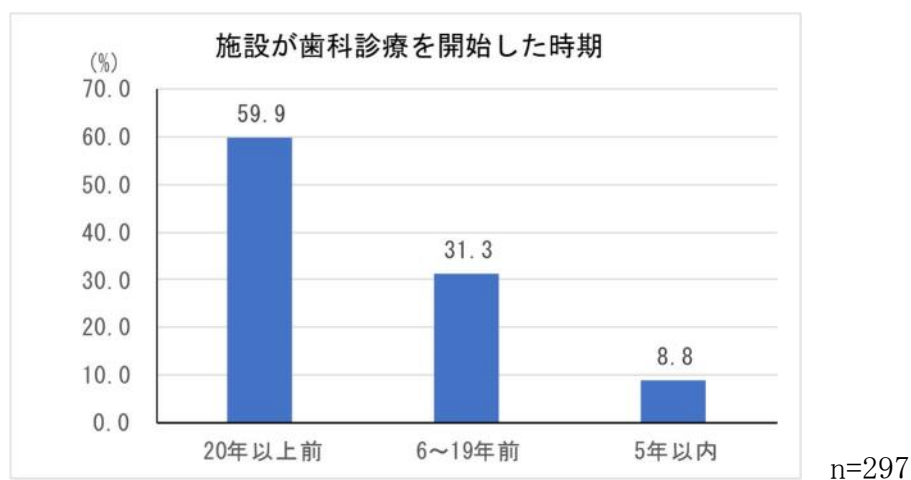
	30代以下	40代	50代	60代	70代以上	計
20年以上前	0.6	9.0	23.6	41.6	25.3	100.0
6～19年前	5.4	45.2	34.4	10.8	4.3	100.0
5年以内	42.3	50.0	7.7	0.0	0.0	100.0
計	5.7	23.9	25.6	28.3	16.5	100.0

問3 貴施設が歯科診療を開始した時期はいつですか。(〇はひとつ)

1 20年以上前 2 6～19年前 3 1～5年前 4 1年以内

施設の歯科治療を開始した時期では、「20年以上前」が59.9%、「6～19年前」が31.3%、「5年以内」が8.8%だった。

管理者の年齢階級別では、30代以下が「5年以内」で最も多く64.7%、40代が「6～19年前」で最も多く59.2%、50代、60代、70代以上が「20年以上前」で最も多くそれぞれ55.3%、88.1%、91.8%だった。



年齢階級別歯科診療を開始した時期 (単位：%)

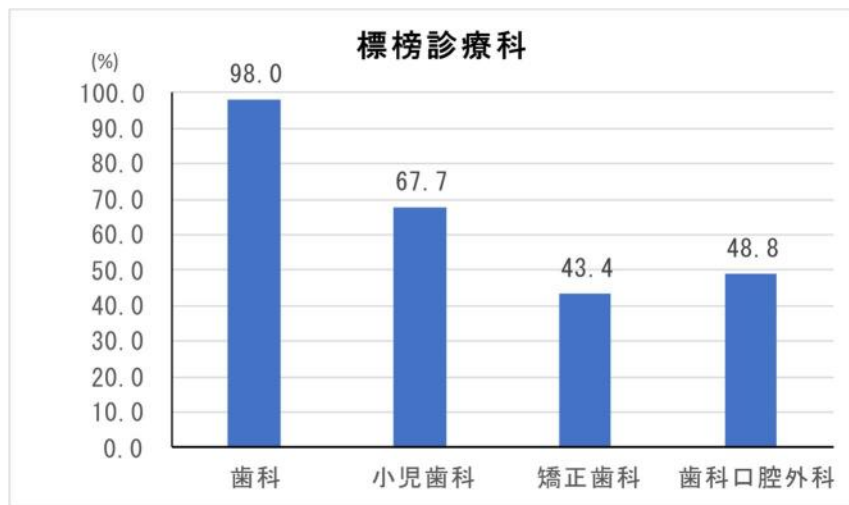
	20年以上前	6～19年前	5年以内	計
30代以下	5.9	29.4	64.7	100.0
40代	22.5	59.2	18.3	100.0
50代	55.3	42.1	2.6	100.0
60代	88.1	11.9	0.0	100.0
70代以上	91.8	8.2	0.0	100.0
計	59.9	31.3	8.8	100.0

問4 標榜診療科を教えてください。(複数選択可)

- 1 歯科 2 小児歯科 3 矯正歯科 4 歯科口腔外科

標榜診療科では、「歯科」が98.0%、「小児歯科」が67.7%、「矯正歯科」が43.4%
「歯科口腔外科」が48.8%だった。

管理者の年齢階級別では、すべての年齢で「歯科」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別標榜診療科

(単位：%)

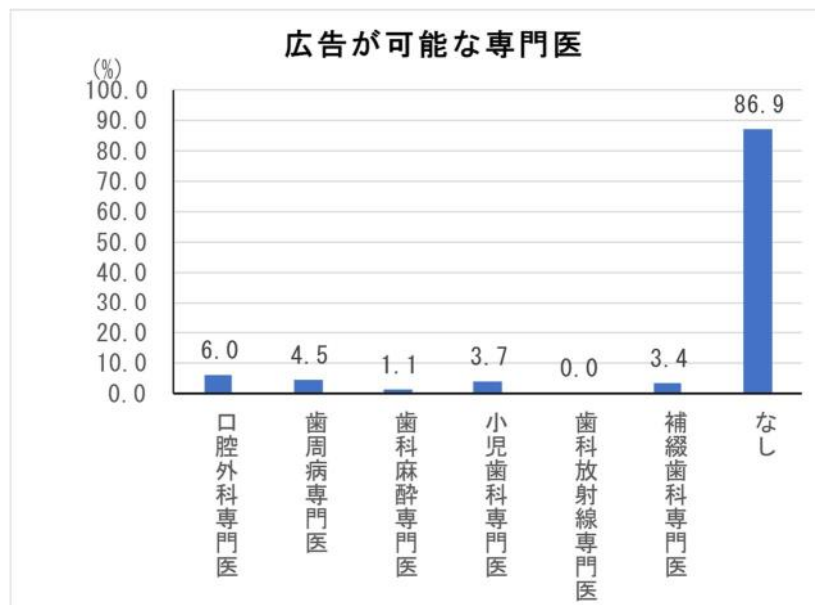
	歯科	小児歯科	矯正歯科	歯科口腔外科
30代以下	94.1	76.5	64.7	76.5
40代	95.8	85.9	54.9	74.6
50代	100.0	76.3	48.7	51.3
60代	98.8	59.5	36.9	36.9
70代	98.0	38.8	22.4	18.4
計	98.0	67.7	43.4	48.8

問5 貴施設に在籍する広告が可能な専門医を教えてください。(複数選択可)

- 1 口腔外科専門医 2 歯周病専門医 3 歯科麻酔専門医
4 小児歯科専門医 5 歯科放射線専門医 6 補綴歯科専門医
7 なし

広告が可能な専門医は、「口腔外科専門医」が最も多く 6.0%、次いで「歯周病専門医」が 4.5%だった。また、「なし」が 86.9%だった。

管理者の年齢階級別では、30 代以下の「口腔外科専門医」が最も多く 13.3%だった。



n=268

年齢階級別広告が可能な専門医

(単位: %)

	口腔外科専門医	歯周病専門医	歯科麻酔専門医	小児歯科専門医	歯科放射線専門医	補綴歯科専門医	なし
30代以下	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	86.7
40代	7.6	6.1	1.5	4.5	0.0	4.5	83.3
50代	7.2	4.3	1.4	4.3	0.0	2.9	88.4
60代	2.7	2.7	1.3	1.3	0.0	1.3	90.7
70代以上	4.7	4.7	0.0	7.0	0.0	7.0	83.7
計	6.0	4.5	1.1	3.7	0.0	3.4	86.9

問6 従事者数を記入してください。

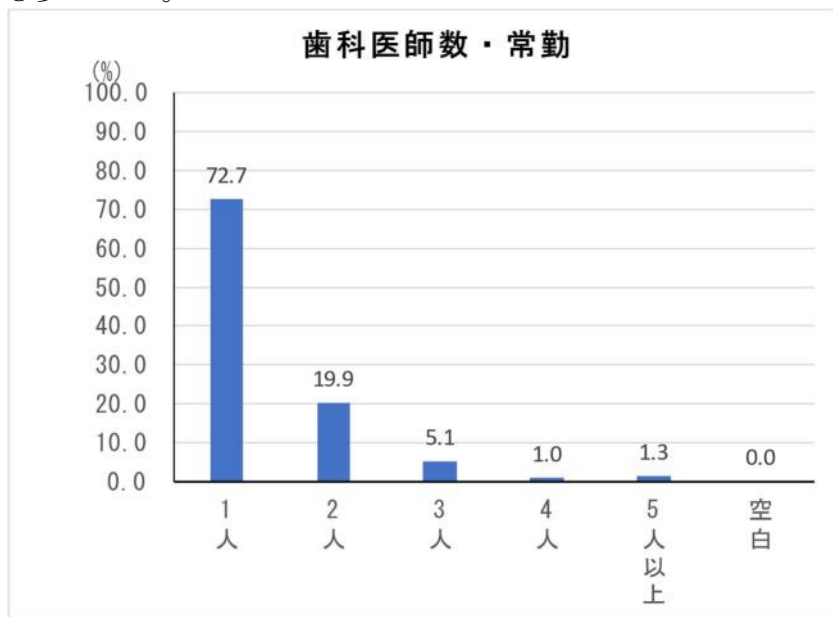
歯科医師（管理者を含む）	常勤（ ）人	非常勤（ ）人
歯科衛生士	常勤（ ）人	非常勤（ ）人
歯科技工士	常勤（ ）人	非常勤（ ）人
歯科助手	常勤（ ）人	非常勤（ ）人
事務	常勤（ ）人	非常勤（ ）人
その他	常勤（ ）人	非常勤（ ）人

(1) 歯科医師

ア 常勤

常勤の歯科医師数は「1人」が最も多く72.7%、次いで「2人」が19.9%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別歯科医師数・常勤

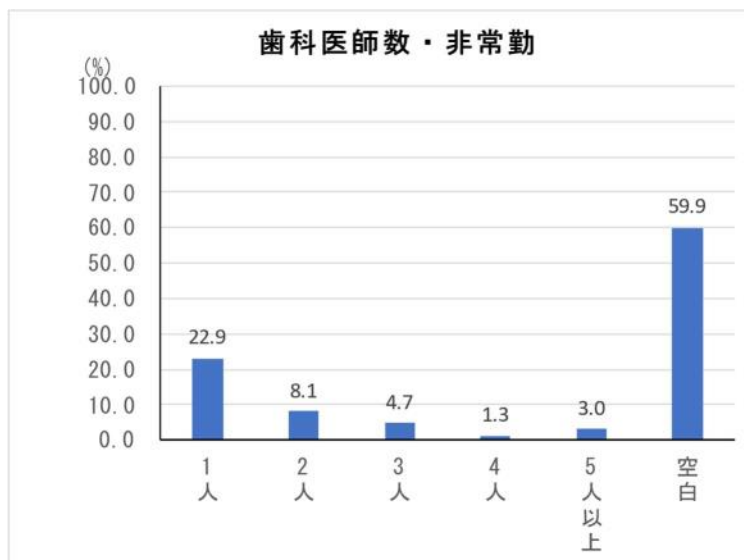
(単位: %)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	47.1	35.3	5.9	5.9	5.9	0.0	100.0
40代	57.7	29.6	9.9	0.0	2.8	0.0	100.0
50代	80.3	13.2	3.9	1.3	1.3	0.0	100.0
60代	82.1	14.3	2.4	1.2	0.0	0.0	100.0
70代以上	75.5	20.4	4.1	0.0	0.0	0.0	100.0
計	72.7	19.9	5.1	1.0	1.3	0.0	100.0

イ 非常勤

非常勤の歯科医師数は「1人」が最も多く 22.9%、次いで「2人」が 8.1%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢において「1人」の割合が最も多かった



n=297

年齢階級別歯科医師数・非常勤

(単位：%)

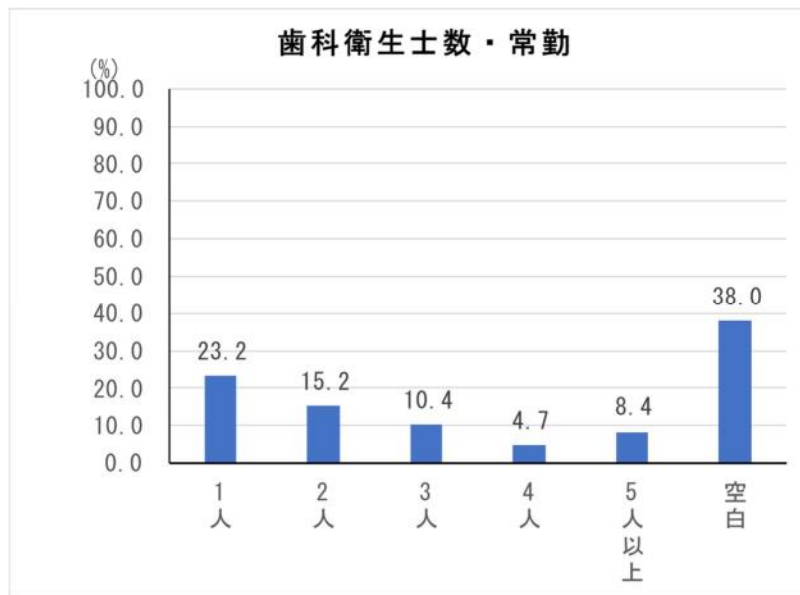
	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	29.4	5.9	11.8	5.9	17.6	29.4	100.0
40代	26.8	9.9	4.2	1.4	2.8	54.9	100.0
50代	26.3	10.5	6.6	1.3	2.6	52.6	100.0
60代	22.6	7.1	2.4	0.0	1.2	66.7	100.0
70代以上	10.2	4.1	4.1	2.0	2.0	77.6	100.0
計	22.9	8.1	4.7	1.3	3.0	59.9	100.0

(2) 歯科衛生士

ア 常勤

常勤の歯科衛生士数は「1人」が最も多く 23.2%、次いで「2人」が 15.2%だった。

管理者の年齢階級別でみると、30代以下は「3人」、40代は「2人」、「5人以上」、50代、60代、70代以上は「1人」が最も多かった。



n=297

年齢階級別歯科衛生士数・常勤

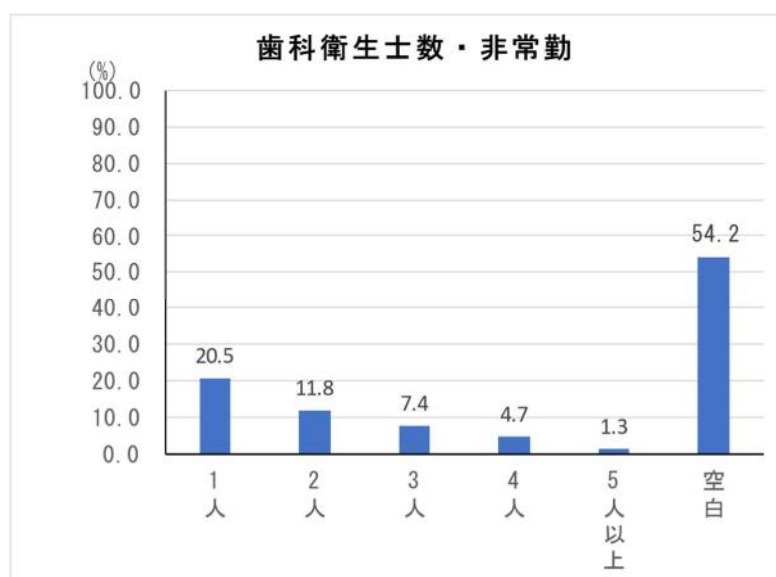
(単位：%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	23.5	23.5	35.3	0.0	11.8	5.9	100.0
40代	15.5	19.7	15.5	9.9	19.7	19.7	100.0
50代	28.9	17.1	11.8	6.6	5.3	30.3	100.0
60代	23.8	10.7	6.0	1.2	4.8	53.6	100.0
70代以上	24.5	10.2	0.0	2.0	2.0	61.2	100.0
計	23.2	15.2	10.4	4.7	8.4	38.0	100.0

イ 非常勤

非常勤の歯科衛生士数は「1人」が最も多く 20.5%、次いで「2人」が 11.8%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別歯科衛生士数・非常勤

(単位：%)

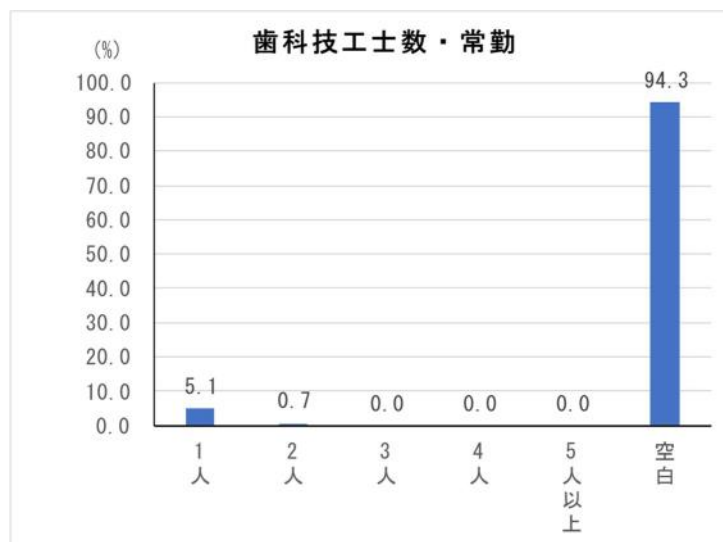
	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	35.3	17.6	11.8	0.0	0.0	35.3	100.0
40代	22.5	15.5	8.5	4.2	2.8	46.5	100.0
50代	15.8	13.2	11.8	7.9	2.6	48.7	100.0
60代	21.4	7.1	6.0	6.0	0.0	59.5	100.0
70代以上	18.4	10.2	0.0	0.0	0.0	71.4	100.0
計	20.5	11.8	7.4	4.7	1.3	54.2	100.0

(3) 歯科技工士数

ア 常勤

常勤の歯科技工士数は「1人」が最も多く5.1%、次いで「2人」が0.7%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別歯科技工士数・常勤

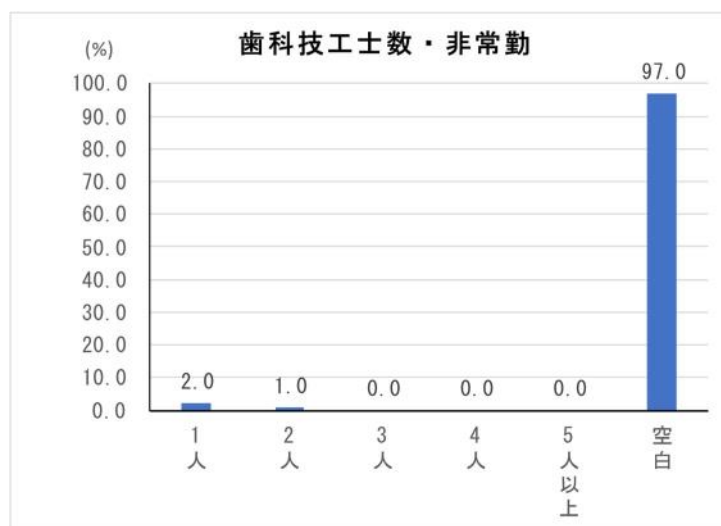
(単位：%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	88.2	100.0
40代	7.0	1.4	0.0	0.0	0.0	91.5	100.0
50代	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	98.7	100.0
60代	6.0	1.2	0.0	0.0	0.0	92.9	100.0
70代以上	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	95.9	100.0
計	5.1	0.7	0.0	0.0	0.0	94.3	100.0

イ 非常勤

非常勤の歯科技工士数は「1人」が最も多く2.0%、次いで「2人」が1.0%だった。

管理者の年齢階級別でみると、40代、70代以上以外の年齢において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別歯科技工士数・非常勤

(単位：%)

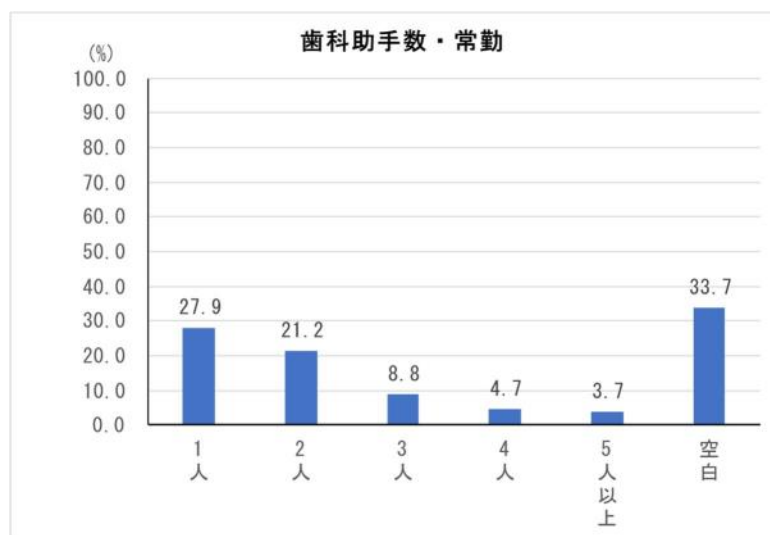
	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	88.2	100.0
40代	2.8	4.2	0.0	0.0	0.0	93.0	100.0
50代	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	98.7	100.0
60代	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	98.8	100.0
70代以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	97.0	100.0

(4) 歯科助手

ア 常勤

常勤の歯科助手数は「1人」が最も多く 27.9%、次いで「2人」が 21.2% だった。

管理者の年齢階級別でみると、30代以下以外の年齢において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別歯科助手数・常勤

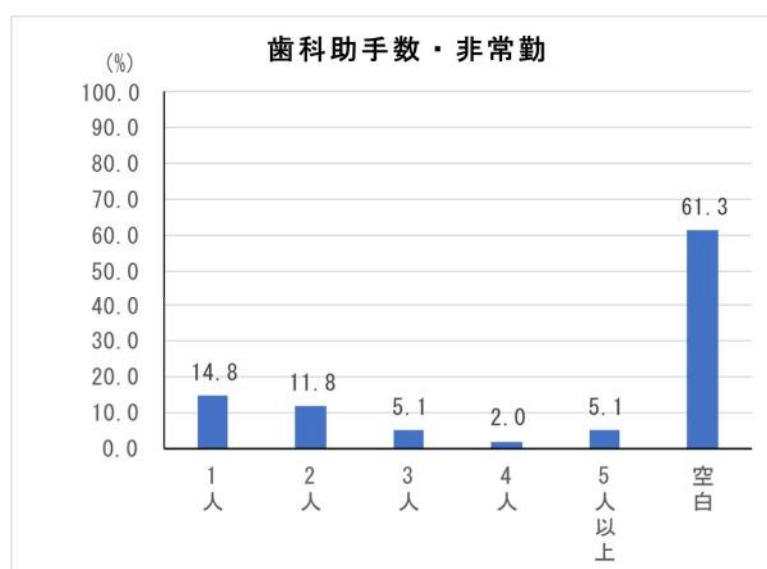
(単位：%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	0.0	11.8	41.2	11.8	11.8	23.5	100.0
40代	31.0	25.4	8.5	8.5	8.5	18.3	100.0
50代	30.3	23.7	7.9	2.6	2.6	32.9	100.0
60代	28.6	21.4	3.6	2.4	1.2	42.9	100.0
70代以上	28.6	14.3	8.2	4.1	0.0	44.9	100.0
計	27.9	21.2	8.8	4.7	3.7	33.7	100.0

イ 非常勤

非常勤の歯科助手数は「1人」が最も多く14.8%、次いで「2人」が11.8%だった。

管理者の年齢階級別でみると、30代以下、40代、50代において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別歯科助手数・非常勤

(単位：%)

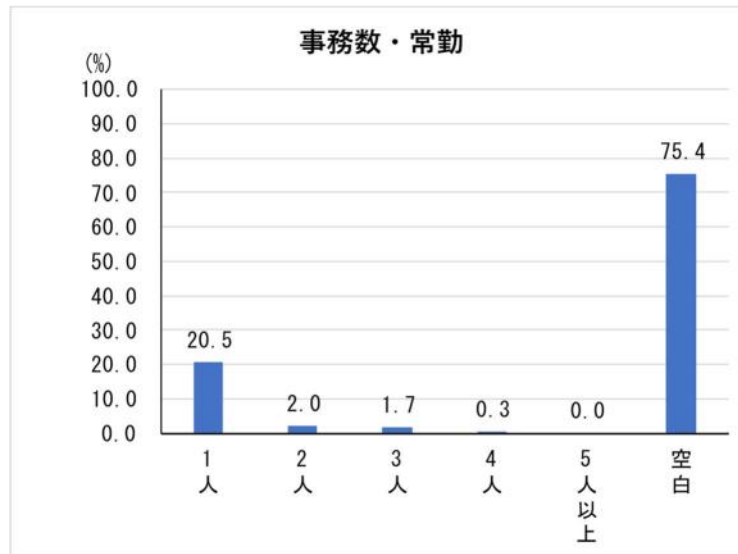
	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	17.6	11.8	0.0	5.9	5.9	58.8	100.0
40代	21.1	12.7	7.0	4.2	4.2	50.7	100.0
50代	25.0	14.5	6.6	1.3	3.9	48.7	100.0
60代	4.8	10.7	3.6	1.2	7.1	72.6	100.0
70代以上	6.1	8.2	4.1	0.0	4.1	77.6	100.0
計	14.8	11.8	5.1	2.0	5.1	61.3	100.0

(5) 事務

ア 常勤

常勤の事務数は「1人」が最も多く 20.5%、次いで「2人」が 2.0%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別事務数・常勤

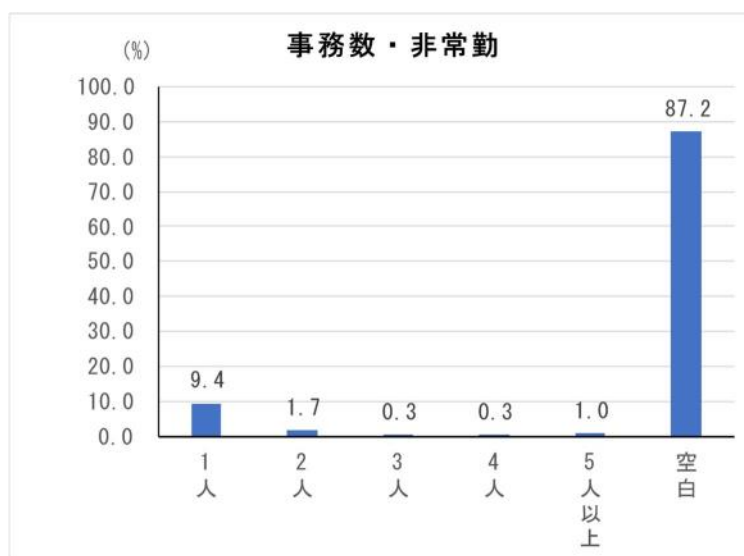
(単位：%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	17.6	0.0	5.9	0.0	0.0	76.5	100.0
40代	12.7	2.8	1.4	0.0	0.0	83.1	100.0
50代	18.4	1.3	2.6	0.0	0.0	77.6	100.0
60代	28.6	2.4	1.2	0.0	0.0	67.9	100.0
70代以上	22.4	2.0	0.0	2.0	0.0	73.5	100.0
計	20.5	2.0	1.7	0.3	0.0	75.4	100.0

イ 非常勤

非常勤の事務数は「1人」が最も多く9.4%、次いで「2人」が1.7%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別事務数・非常勤

(単位：%)

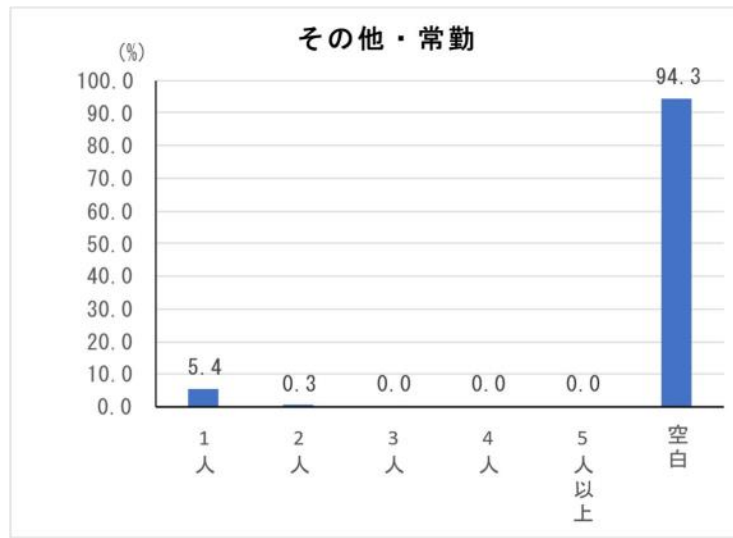
	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	88.2	100.0
40代	11.3	4.2	0.0	0.0	1.4	83.1	100.0
50代	7.9	2.6	0.0	0.0	1.3	88.2	100.0
60代	10.7	0.0	1.2	1.2	1.2	85.7	100.0
70代以上	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	93.9	100.0
計	9.4	1.7	0.3	0.3	1.0	87.2	100.0

(6) その他

ア 常勤

常勤のその他数は「1人」が最も多く 5.4%、次いで「2人」が 0.3%だった。

管理者の年齢階級別でみると、「30代以下」以外のすべての年齢において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別その他・常勤

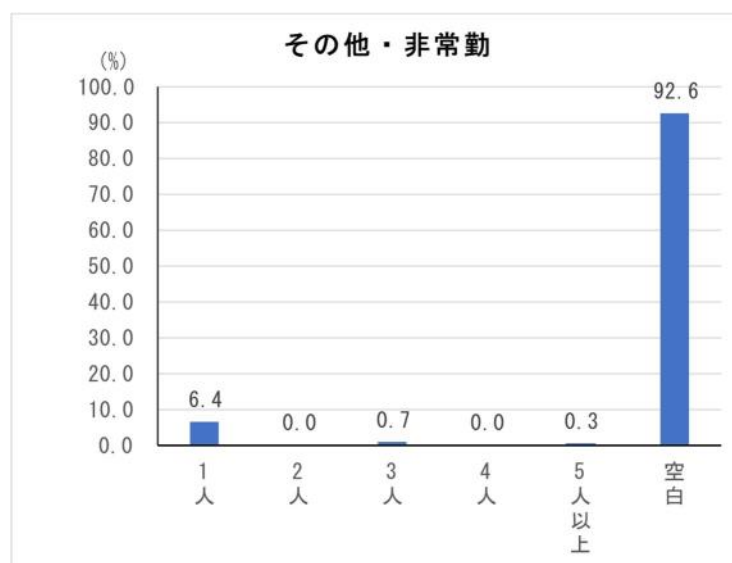
(単位：%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	88.2	100.0
40代	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	95.8	100.0
50代	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	96.1	100.0
60代	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7	100.0
70代以上	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	95.9	100.0
計	5.4	0.3	0.0	0.0	0.0	94.3	100.0

イ 非常勤

非常勤のその他数は「1人」が最も多く 6.4%、次いで「3人」が 0.7%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢において「1人」の割合が最も多かった。



n=297

年齢階級別その他・非常勤

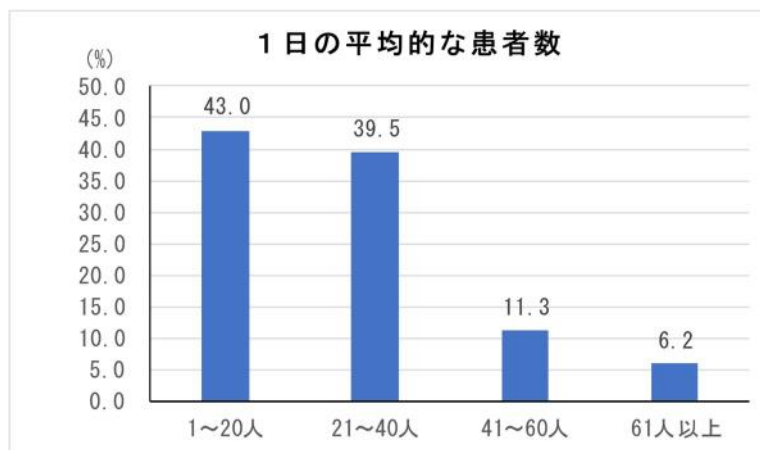
(単位：%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	空白	計
30代以下	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	94.1	100.0
40代	5.6	0.0	1.4	0.0	1.4	91.5	100.0
50代	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	93.4	100.0
60代	7.1	0.0	1.2	0.0	0.0	91.7	100.0
70代以上	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	93.9	100.0
計	6.4	0.0	0.7	0.0	0.3	92.6	100.0

問7 1日の平均的な患者数を記入してください。 () 人

1日の平均的な患者数では、「1～20人」が43.0%と最も多く、次いで「21～40人」が39.5%、「41～60人」が11.3%、「61人以上」が6.2%だった。

管理者の年齢階級別でみると、30代以下と40代は「21～40人」が最も多く、50代、60代、70代は「1～20人」が最も多かった。



n=291

年齢階級別 1日の平均的な患者数

(単位：%)

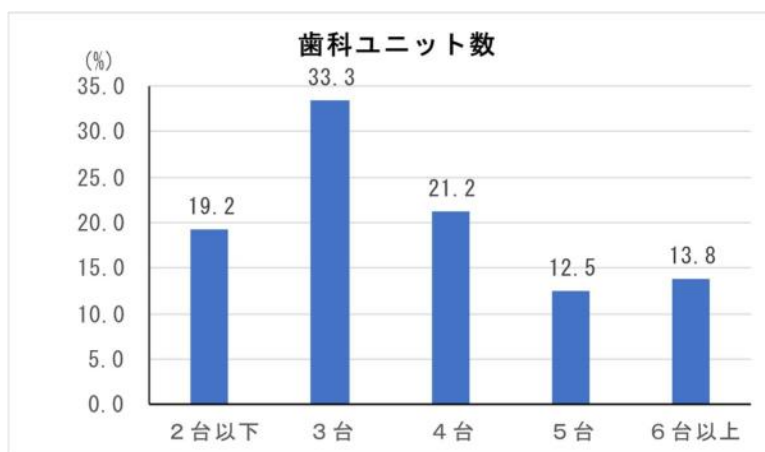
	1～20人	21～40人	41～60人	61人以上	計
30代以下	7.1	50.0	28.6	14.3	100.0
40代	23.9	46.5	16.9	12.7	100.0
50代	44.0	38.7	12.0	5.3	100.0
60代	48.8	40.2	8.5	2.4	100.0
70代以上	69.4	26.5	2.0	2.0	100.0
計	43.0	39.5	11.3	6.2	100.0

問 8 歯科ユニット数を記入してください。

() 台

歯科ユニット数では、「3 台」が最も多く 33.3%、次いで「4 台」が 21.2%、「2 台以下」が 19.2%、「6 台以上」が 13.8%だった。

管理者の年齢階級別でみると、30 代以下は「5 台」、40 代は「4 台」、50 代、60 代、70 代以上は「3 台」がそれぞれ最も多かった。



n=297

年齢階級別歯科ユニット数

(単位：%)

	2 台以下	3 台	4 台	5 台	6 台以上	計
30代以下	5.9	11.8	17.6	35.3	29.4	100.0
40代	9.9	22.5	31.0	14.1	22.5	100.0
50代	21.1	36.8	19.7	9.2	13.2	100.0
60代	20.2	40.5	21.4	11.9	6.0	100.0
70代以上	32.7	38.8	10.2	8.2	10.2	100.0
計	19.2	33.3	21.2	12.5	13.8	100.0

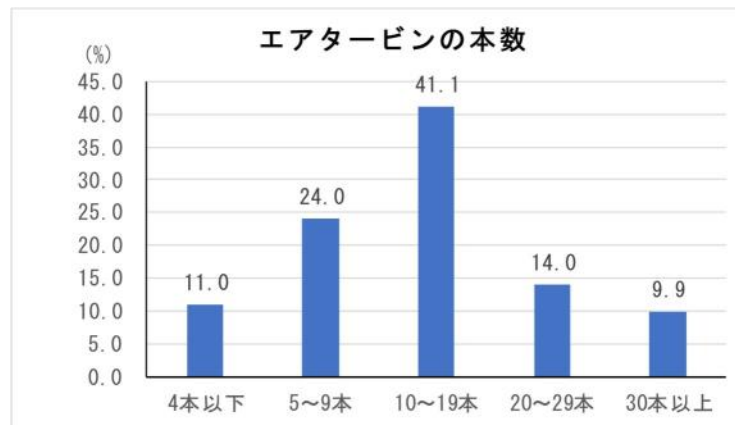
問9 所持しているハンドピースの本数を記入してください。

エアタービン () 本 コントラアングル () 本
 ストレート () 本

(1) エアタービンの本数

エアタービンの本数は、「10～19本」が最も多く 41.1%、次いで「5～9本」が 24.0%だった。

管理者の年齢階級別でみると、30代以下は「5～9本」、40代、50代、60代、70代以上は「10～19本」がそれぞれ最も多かった。



n=292

年齢階級別エアタービンの本数

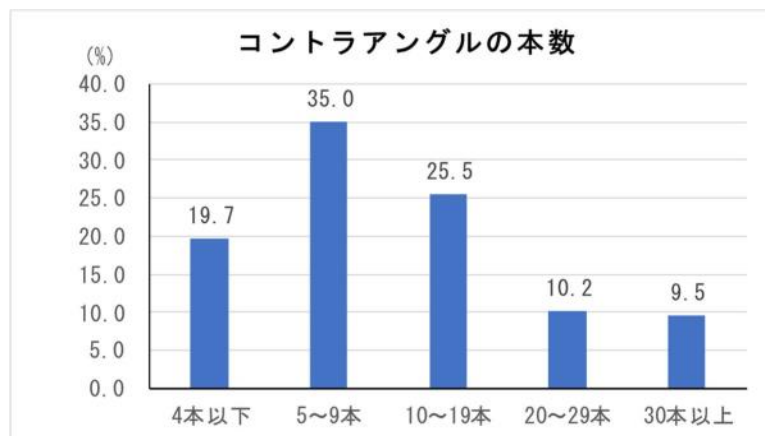
(単位：%)

	4本以下	5～9本	10～19本	20～29本	30本以上	計
30代以下	0.0	47.1	29.4	5.9	17.6	100.0
40代	11.4	15.7	45.7	17.1	10.0	100.0
50代	6.8	26.0	46.6	9.6	11.0	100.0
60代	12.0	26.5	37.3	16.9	7.2	100.0
70代以上	18.4	20.4	36.7	14.3	10.2	100.0
計	11.0	24.0	41.1	14.0	9.9	100.0

(2) コントラアングルの本数

コントラアングルの本数は、「5～9 本」が最も多く 35.0%、次いで「10～19 本」が 25.5%だった。

管理者の年齢階級別でみると、30 代以下、40 代は「10～19 本」、50 代、60 代は「5～9 本」、70 代以上は「4 本以下」がそれぞれ最も多かった。



n=294

年齢階級別コントラアングルの本数

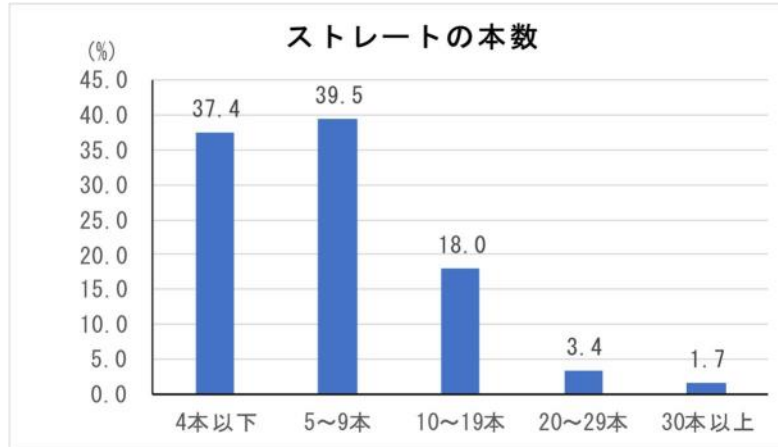
(単位：%)

	4本以下	5～9本	10～19本	20～29本	30本以上	計
30代以下	5.9	23.5	35.3	17.6	17.6	100.0
40代	9.9	31.0	36.6	9.9	12.7	100.0
50代	14.7	46.7	14.7	9.3	14.7	100.0
60代	27.7	36.1	22.9	9.6	3.6	100.0
70代以上	33.3	25.0	27.1	10.4	4.2	100.0
計	19.7	35.0	25.5	10.2	9.5	100.0

(3) ストレートの本数

ストレートの本数は、「5～9 本」が最も多く 39.5%、次いで「4 本以下」が 37.4%だった。

管理者の年齢階級別にみると、30 代以下、40 代、50 代は「5～9 本」、60 代、70 代以上は「4 本以下」が最も多かった。



n=294

年齢階級別ストレートの本数

(単位：%)

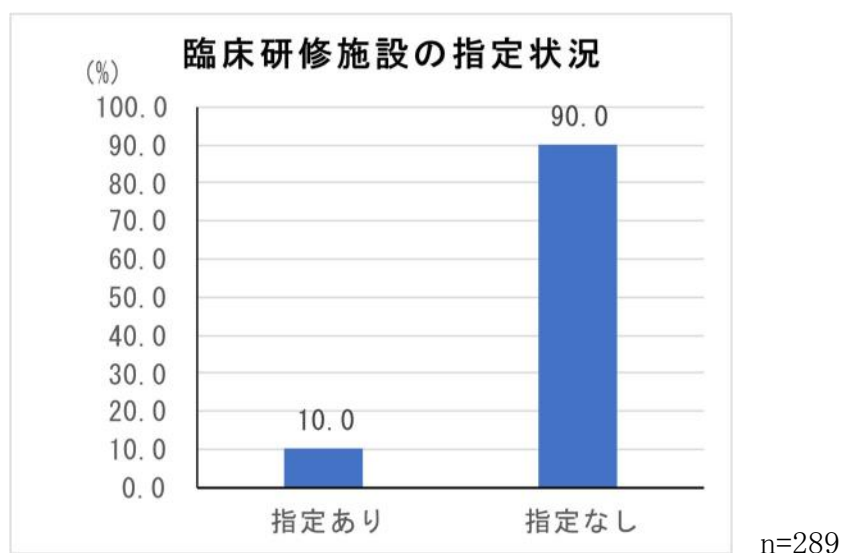
	4本以下	5～9本	10～19本	20～29本	30本以上	計
30代以下	17.6	47.1	29.4	5.9	0.0	100.0
40代	31.0	43.7	21.1	1.4	2.8	100.0
50代	36.0	45.3	12.0	2.7	4.0	100.0
60代	44.6	32.5	16.9	6.0	0.0	100.0
70代以上	43.8	33.3	20.8	2.1	0.0	100.0
計	37.4	39.5	18.0	3.4	1.7	100.0

問 10 臨床研修施設の指定状況を教えてください。(複数選択可)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 単独型臨床研修施設 | 2 管理型臨床研修施設 |
| 3 協力型臨床研修施設 | 4 連携型臨床研修施設 |
| 5 研修協力施設 | 6 指定なし |

臨床研修施設の指定状況は、「指定あり」が 10.0%、「指定なし」が 90.0%だった。

管理者の年齢階級別では、年齢が高くなるにつれ「指定あり」の割合が減少傾向だった。



年齢階級別臨床研修施設の指定状況

(単位：%)

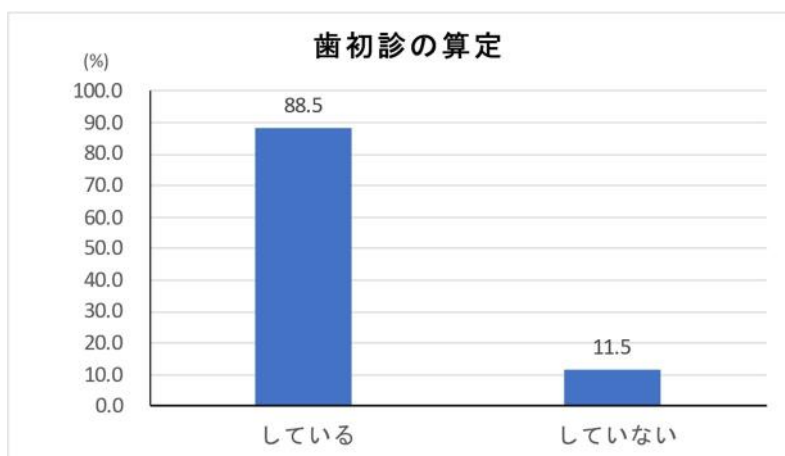
	指定あり	指定なし	計
30代以下	20.0	80.0	100.0
40代	15.5	84.5	100.0
50代	6.8	93.2	100.0
60代	4.8	95.2	100.0
70代以上	13.0	87.0	100.0
計	10.0	90.0	100.0

問 1 1 診療報酬で歯初診の算定をしていますか。(歯科点数表の初診料の注 1 に規定する施設基準)

1 している 2 していない

歯初診の算定では、「している」が 88.5%、「していない」が 11.5%だった。

管理者の年齢階級別でみると、30 代以下は「している」が 76.5%だったのに対し、40 代、50 代、60 代、70 代以上は「している」が 9 割前後だった。



n=288

年齢階級別歯初診の算定

(単位：%)

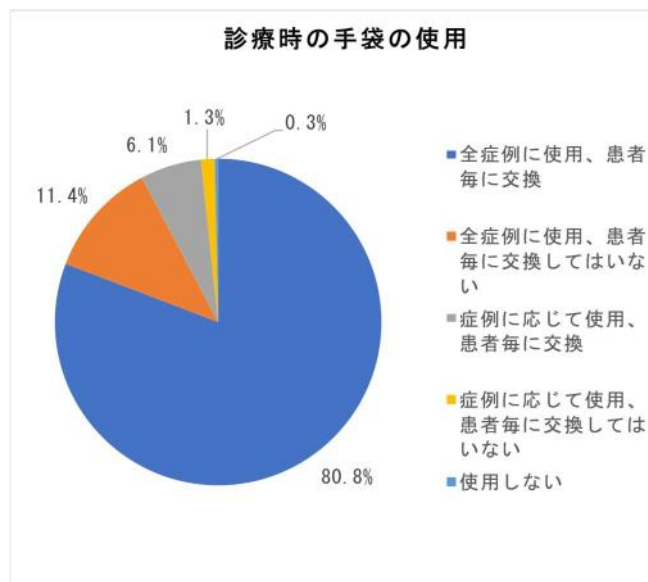
	している	していない	計
30代以下	76.5	23.5	100.0
40代	94.1	5.9	100.0
50代	90.5	9.5	100.0
60代	85.5	14.5	100.0
70代以上	87.0	13.0	100.0
計	88.5	11.5	100.0

問 1 2 診療時の手袋の使用について教えてください。(○はひとつ)

- 1 すべての症例に使用し、患者毎に交換している
- 2 すべての症例に使用しているが、患者毎に交換しているわけではない
- 3 症例に応じて使用し、患者毎に交換している
- 4 症例に応じて使用しているが、患者毎に交換しているわけではない
- 5 手袋は使用していない

診療時の手袋の使用は、「全症例に使用、患者毎に交換」が 80.8%と最も多く、次いで「全症例に使用、患者毎に交換してはいない」が 11.4%だった。また、「使用しない」が 0.3%だった。

管理者の年齢階級別では、年齢が高くなるにつれ「全症例に使用、患者毎に交換」の割合が減少傾向だった。



n=297

年齢階級別診療時の手袋の使用

(単位: %)

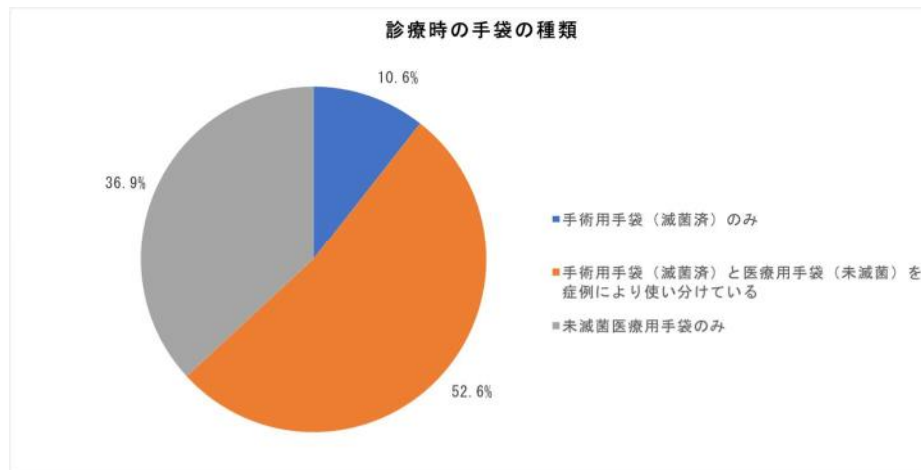
	全症例に使用、患者毎に交換	全症例に使用、患者毎に交換してはいない	症例に応じて使用、患者毎に交換	症例に応じて使用、患者毎に交換してはいない	使用しない	計
30代以下	88.2	0.0	11.8	0.0	0.0	100.0
40代	95.8	2.8	1.4	0.0	0.0	100.0
50代	85.5	11.8	1.3	1.3	0.0	100.0
60代	71.4	21.4	6.0	1.2	0.0	100.0
70代以上	65.3	10.2	18.4	4.1	2.0	100.0
計	80.8	11.4	6.1	1.3	0.3	100.0

問 1 3 診療時に使用する手袋の種類について教えてください。(○はひとつ)

- 1 手術用手袋（滅菌済）のみ
- 2 手術用手袋（滅菌済）と医療用手袋（未滅菌）を症例により使い分けている
- 3 未滅菌医療用手袋のみ

診療時に使用する手袋の種類では、「手術用手袋（滅菌済）と医療用手袋（未滅菌）を症例により使い分けている」が最も多く 52.6%、次いで「未滅菌医療用手袋のみ」36.9%、「手術用手袋（滅菌済）のみ」が 10.6%だった。

管理者の年齢階級別では、年齢が高くなるにつれ「未滅菌医療用手袋のみ」の割合が増加傾向だった。



n=293

年齢階級別診療時の手袋の種類

(単位：%)

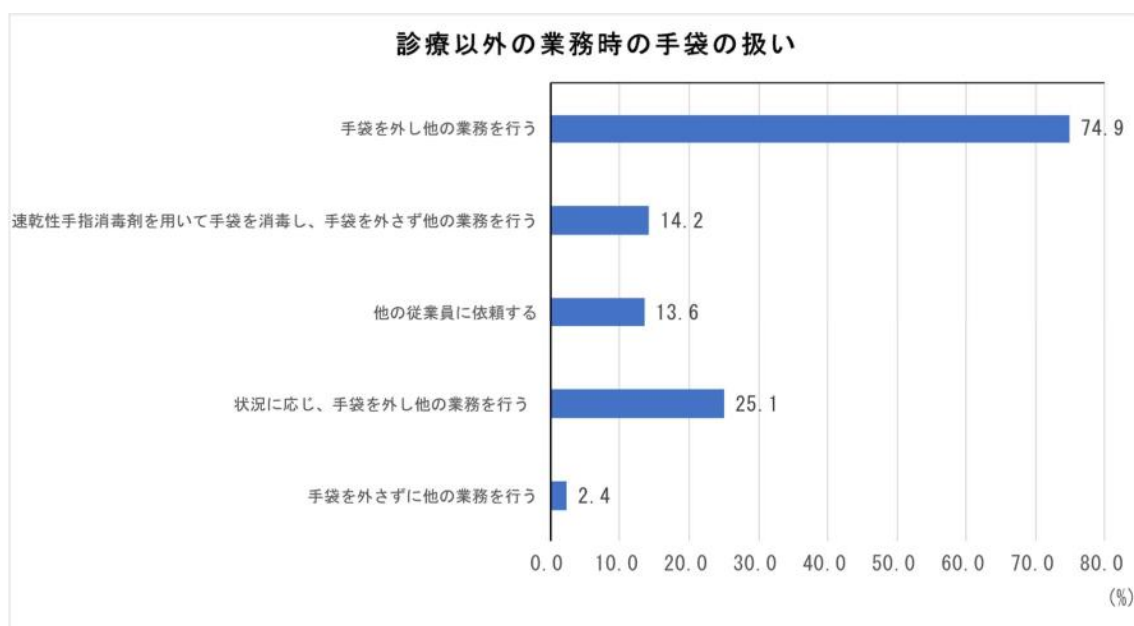
	手術用手袋（滅菌済）のみ	手術用手袋（滅菌済）と医療用手袋（未滅菌）を症例により使い分けている	未滅菌医療用手袋のみ	計
30代以下	5.9	76.5	17.6	100.0
40代	5.7	64.3	30.0	100.0
50代	17.3	52.0	30.7	100.0
60代	8.4	43.4	48.2	100.0
70代以上	12.5	43.8	43.8	100.0
計	10.6	52.6	36.9	100.0

問 1 4 診療以外の業務時（カルテ記載、PC 操作等）の手袋の扱いについて教えてください。（複数回答可）

- 1 手袋を外し他の業務を行う
- 2 速乾性手指消毒剤を用いて手袋を消毒し、手袋を外さず他の業務を行う
- 3 他の従業員に依頼する
- 4 状況に応じ、手袋を外し他の業務を行う
- 5 手袋を外さずに他の業務を行う

診療以外の業務時（カルテ記載、PC 操作等）の手袋の扱いでは、「手袋を外し他の業務を行う」が 74.9%、「他の従業員に依頼する」が 13.6%に対し、「速乾性手指消毒剤を用いて手袋を消毒し、手袋を外さず他の業務を行う」が 14.2%、「状況に応じ、手袋を外し他の業務を行う」が 25.1%、「手袋を外さずに他の業務を行う」が 2.4%だった。

管理者の年齢階級別では、年齢が高くなるにつれ「手袋を外し他の業務を行う」の割合が減少傾向だった。



n=295

年齢階級別診療以外の業務時の手袋の扱い

(単位：%)

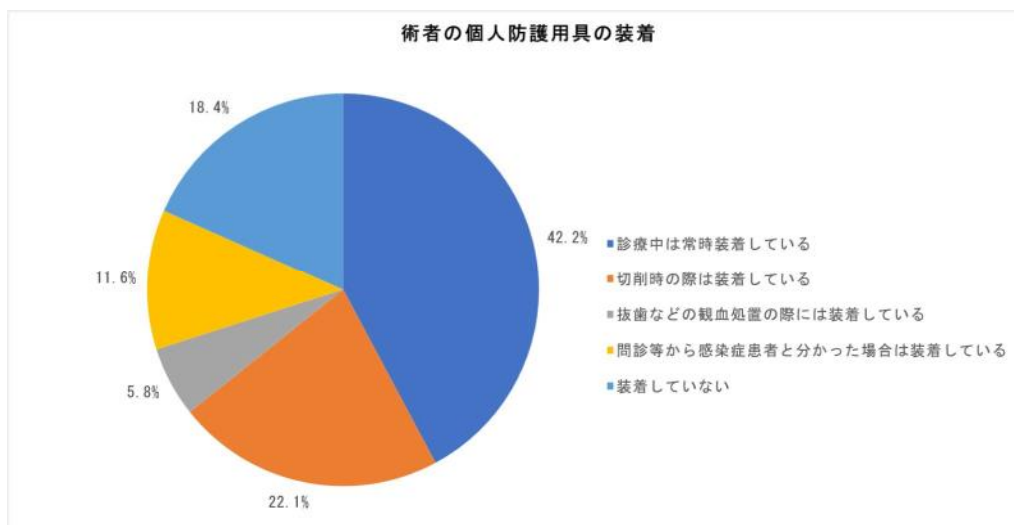
	手袋を外し他の業務を行う	速乾性手指消毒剤を用いて手袋を消毒し、手袋を外さず他の業務を行う	他の従業員に依頼する	状況に応じ、手袋を外し他の業務を行う	手袋を外さずに他の業務を行う
30代以下	88.2	5.9	17.6	5.9	0.0
40代	90.1	9.9	12.7	19.7	4.2
50代	68.4	14.5	15.8	28.9	1.3
60代	67.5	19.3	10.8	24.1	3.6
70代以上	70.8	14.6	14.6	35.4	0.0
計	74.9	14.2	13.6	25.1	2.4

問 1 5 診療時、術者の個人防護用具（フェイスガード等）の装着について教えてください。（○はひとつ）

- 1 診療中は常時装着している
- 2 切削時の際は装着している
- 3 抜歯などの観血処置の際には装着している
- 4 問診等から感染症患者と分かった場合は装着している
- 5 装着していない

診療時、術者の個人防護用具（フェイスガード等）の装着では、「診療中は常時装着している」が 42.2%に対し、「切削時の際は装着している」が 22.1%、「抜歯などの観血処置の際には装着している」が 5.8%、「問診等から感染症患者と分かった場合は装着している」が 11.6%だった。また、「装着していない」が 18.4%だった。

管理者の年齢階級別では、年齢が高くなるにつれ「装着していない」の割合が増加傾向だった。



n=294

年齢階級別術者の個人防護用具の装着

(単位：%)

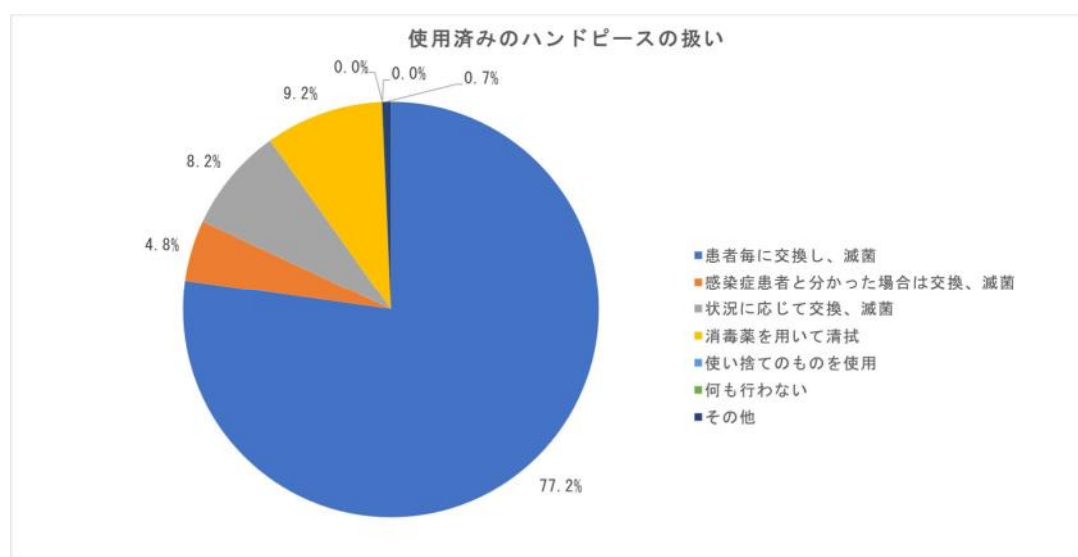
	診療中は常時装着している	切削時の際は装着している	抜歯などの観血処置の際には装着している	問診等から感染症患者と分かった場合は装着している	装着していない	計
30代以下	41.2	23.5	5.9	17.6	11.8	100.0
40代	51.4	20.0	2.9	12.9	12.9	100.0
50代	46.1	22.4	5.3	10.5	15.8	100.0
60代	35.4	24.4	6.1	9.8	24.4	100.0
70代以上	34.7	20.4	10.2	12.2	22.4	100.0
計	42.2	22.1	5.8	11.6	18.4	100.0

問 1 6 使用済みのハンドピースの扱いについて教えてください。(○はひとつ)

- 1 患者毎に交換し、滅菌を行う
- 2 問診等から感染症患者と分かった場合は交換、滅菌を行う
- 3 状況に応じて（血液が付着した場合等）交換、滅菌を行う
- 4 消毒薬を用いて清拭を行う
- 5 使い捨てのものを使用している
- 6 何も行わない
- 7 その他（ ）

使用済みのハンドピースの扱いでは、「患者毎に交換し、滅菌」が 77.2%だった。また、「何も行わない」が 0.0%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「患者毎に交換し、滅菌」の割合が減少傾向だった。



n=294

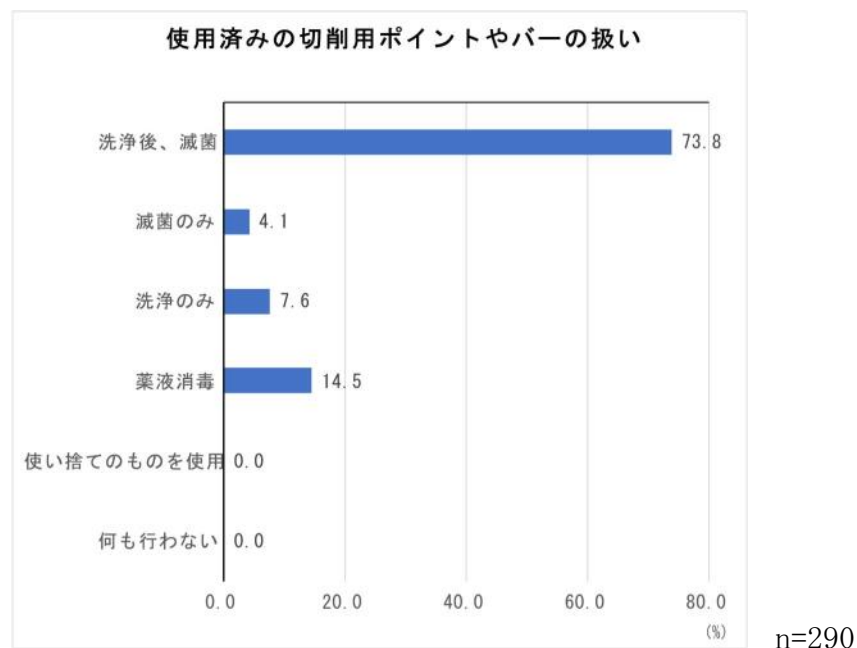
年齢階級別使用済みのハンドピースの扱い								(単位：%)	
	患者毎に交換し、滅菌	感染症患者と分かった場合は交換、滅菌	状況に応じて交換、滅菌	消毒薬を用いて清拭	使い捨てのものを使用	何も行わない	その他	計	
30代以下	82.4	5.9	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	100.0	
40代	88.7	2.8	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	100.0	
50代	80.0	5.3	8.0	6.7	0.0	0.0	0.0	100.0	
60代	69.5	7.3	12.2	9.8	0.0	0.0	1.2	100.0	
70代以上	67.3	2.0	8.2	20.4	0.0	0.0	2.0	100.0	
計	77.2	4.8	8.2	9.2	0.0	0.0	0.7	100.0	

問 17 使用済みの切削用ポイントやバーの扱いについて教えてください。(○はひとつ)

- 1 洗浄（超音波洗浄等）後、滅菌（オートクレーブ等）を行う
- 2 滅菌（オートクレーブ等）のみを行う
- 3 洗浄（超音波洗浄等）のみを行う
- 4 薬液消毒を行う
- 5 使い捨てのものを使用している
- 6 何も行わない

使用済みの切削用ポイントやバーの扱いでは、「洗浄後、滅菌」が 73.8%だった。また、「何も行わない」が 0.0%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「洗浄後、滅菌」の割合が減少傾向だった。



年齢階級別使用済みの切削用ポイントやバーの扱い

(単位：%)

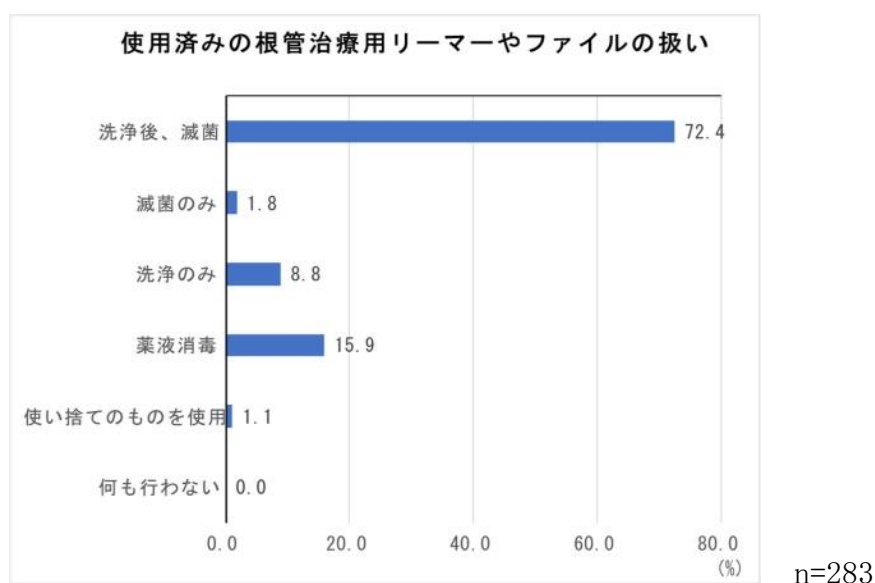
	洗浄後、滅菌	滅菌のみ	洗浄のみ	薬液消毒	使い捨てのもの	何も行わない	計
30代以下	82.4	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	100.0
40代	85.7	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	100.0
50代	72.6	4.1	12.3	11.0	0.0	0.0	100.0
60代	67.9	8.6	4.9	18.5	0.0	0.0	100.0
70代以上	65.3	4.1	6.1	24.5	0.0	0.0	100.0
計	73.8	4.1	7.6	14.5	0.0	0.0	100.0

問 1 8 使用済みの根管治療用リーマーやファイルの扱いについて教えてください。(〇はひとつ)

- 1 洗浄（超音波洗浄等）後、滅菌（オートクレーブ等）を行う
- 2 滅菌（オートクレーブ等）のみを行う
- 3 洗浄（超音波洗浄等）のみを行う
- 4 薬液消毒を行う
- 5 使い捨てのものを使用している
- 6 何も行わない

使用済みの根管治療用リーマーやファイルの扱いでは、「洗浄後、滅菌」が72.4%だった。また、「何も行わない」が0.0%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「洗浄後、滅菌」の割合が減少した。



年齢階級別使用済みの根管治療用リーマーやファイルの扱い

(単位：%)

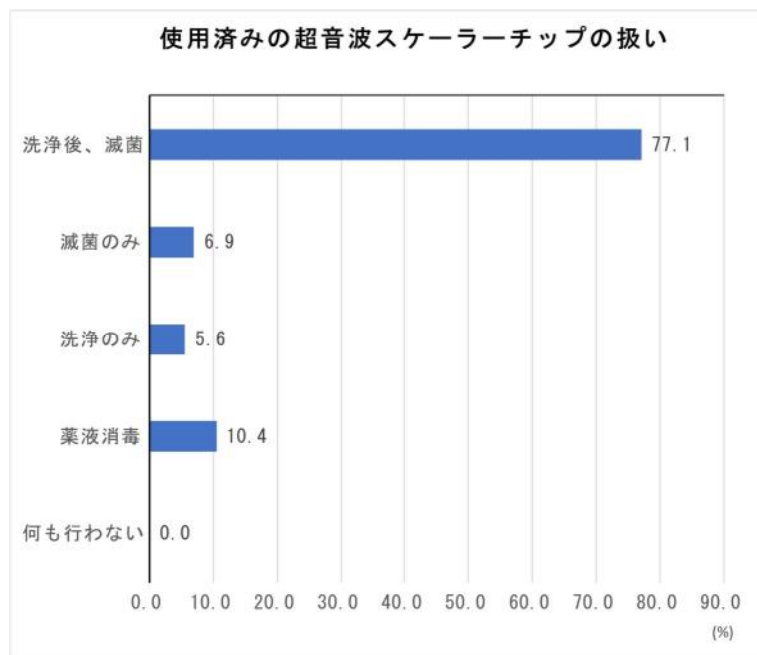
	洗浄後、滅菌	滅菌のみ	洗浄のみ	薬液消毒	使い捨てのものを使用	何も行わない	計
30代以下	93.8	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	100.0
40代	83.6	0.0	6.0	10.4	0.0	0.0	100.0
50代	70.4	4.2	11.3	11.3	2.8	0.0	100.0
60代	65.4	1.2	9.9	23.5	0.0	0.0	100.0
70代以上	64.6	2.1	8.3	22.9	2.1	0.0	100.0
計	72.4	1.8	8.8	15.9	1.1	0.0	100.0

問 19 使用済みの超音波スケーラーチップの扱いについて教えてください。
(○はひとつ)

- 1 洗浄（超音波洗浄等）後、滅菌（オートクレーブ等）を行う
- 2 滅菌（オートクレーブ等）のみを行う
- 3 洗浄（超音波洗浄等）のみを行う
- 4 薬液消毒を行う
- 5 何も行わない

使用済みの超音波スケーラーチップの扱いでは、「洗浄後、滅菌」が 77.1%だった。また、「何も行わない」が 0.0%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「洗浄後、滅菌」の割合が減少傾向だった。



n=288

年齢階級別使用済みの超音波スケーラーチップの扱い

(単位：%)

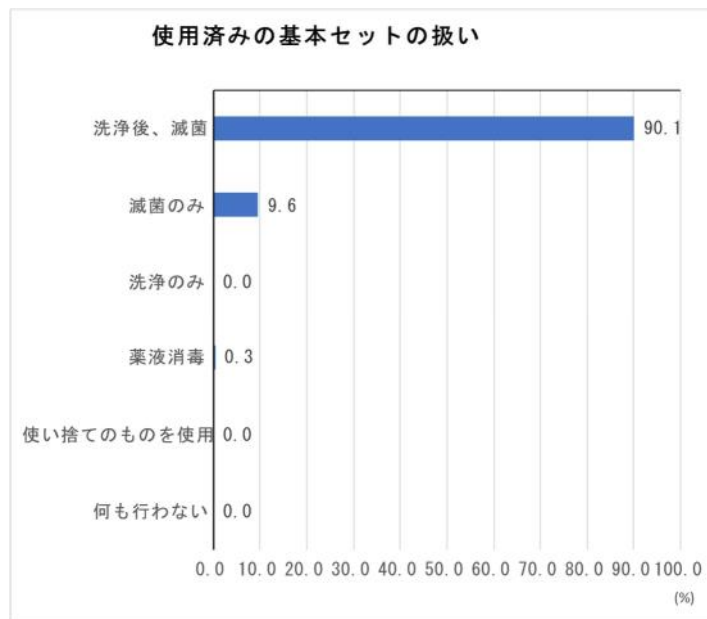
	洗浄後、滅菌	滅菌のみ	洗浄のみ	薬液消毒	何も行わない	計
30代以下	94.1	5.9	0.0	0.0	0.0	100.0
40代	87.1	5.7	4.3	2.9	0.0	100.0
50代	76.7	4.1	11.0	8.2	0.0	100.0
60代	67.5	11.3	3.8	17.5	0.0	100.0
70代以上	72.9	6.3	4.2	16.7	0.0	100.0
計	77.1	6.9	5.6	10.4	0.0	100.0

問20 使用済みの基本セット（デンタルミラー、ピンセット、バキュームチップ等）の扱いについて教えてください。（○はひとつ）

- 1 洗浄（超音波洗浄等）後、滅菌（オートクレーブ等）を行う
- 2 滅菌（オートクレーブ等）のみを行う
- 3 洗浄（超音波洗浄等）のみを行う
- 4 薬液消毒を行う
- 5 使い捨てのものを使用している
- 6 何も行わない

使用済みの超音波スケーラーチップの扱いでは、「洗浄後、滅菌」が90.1%だった。また、「何も行わない」が0.0%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「洗浄後、滅菌」の割合が減少した。



年齢階級別使用済みの基本セットの扱い

(単位：%)

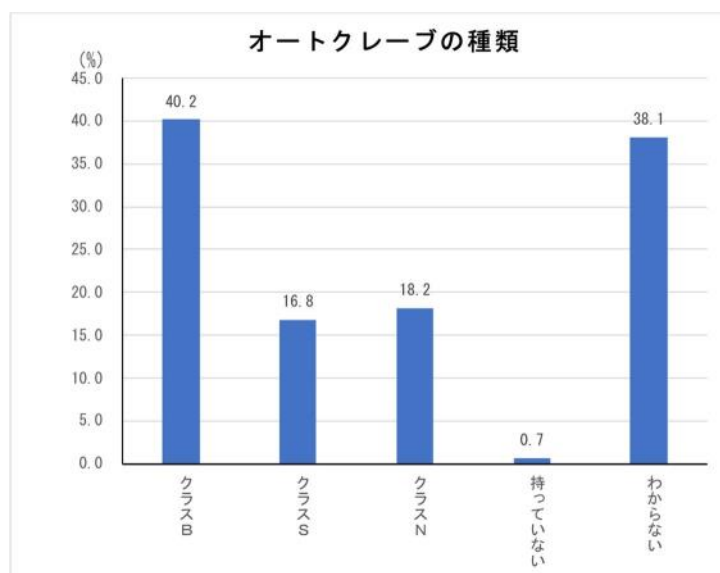
	洗浄後、滅菌	滅菌のみ	洗浄のみ	薬液消毒	使い捨てのものを使用	何も行わない	計
30代以下	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
40代	97.1	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
50代	90.8	9.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
60代	87.7	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
70代以上	79.6	18.4	0.0	2.0	0.0	0.0	100.0
計	90.1	9.6	0.0	0.3	0.0	0.0	100.0

問 2 1 使っているオートクレーブのクラスを教えてください。(複数選択可)

- 1 クラス B
- 2 クラス S
- 3 クラス N
- 4 持っていない
- 5 わからない

使っているオートクレーブのクラスでは、「クラス B」が 40.2%だった。また、「持っていない」が 0.7%、「わからない」が 38.1%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「クラス B」の割合が減少した。また、年齢が高くなるにつれ「わからない」の割合が増加した。



n=291

年齢階級別オートクレーブの種類

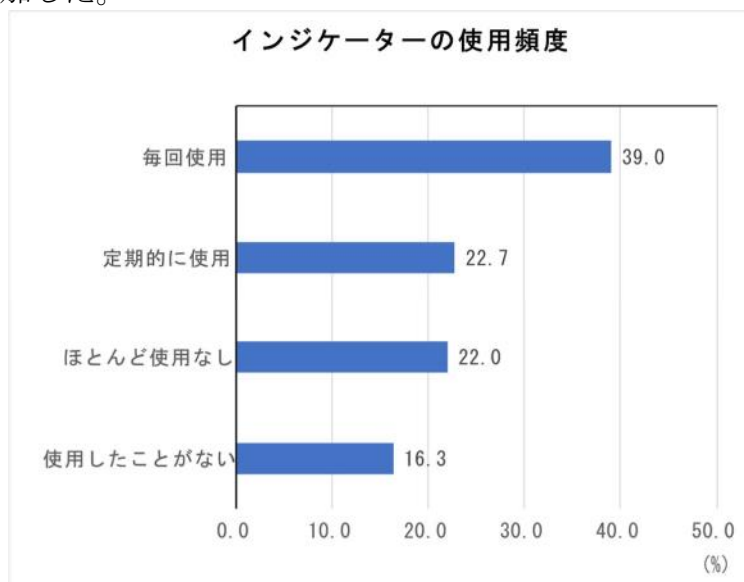
	クラス B	クラス S	クラス N	持っていない	わからない
30代以下	70.6	41.2	11.8	0.0	5.9
40代	47.1	18.6	20.0	0.0	30.0
50代	46.1	13.2	21.1	0.0	32.9
60代	35.8	12.3	13.6	0.0	49.4
70代以上	17.0	19.1	21.3	4.3	51.1
計	40.2	16.8	18.2	0.7	38.1

問２２ インジケーターの使用頻度を教えてください。（○はひとつ）

- 1 毎回使用している
- 2 定期的に使用している
- 3 ほとんど使用なし
- 4 使用したことがない

インジケーターの使用頻度では、「毎回使用している」が 39.0%、「定期的に使用している」が 22.7%に対し、「ほとんど使用なし」が 22.0%、「使用したことがない」が 16.3%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「毎回使用している」の割合が減少傾向だった。また、年齢が高くなるにつれ「使用したことがない」の割合が増加した。



n=264

年齢階級別インジケーターの使用頻度

(単位：%)

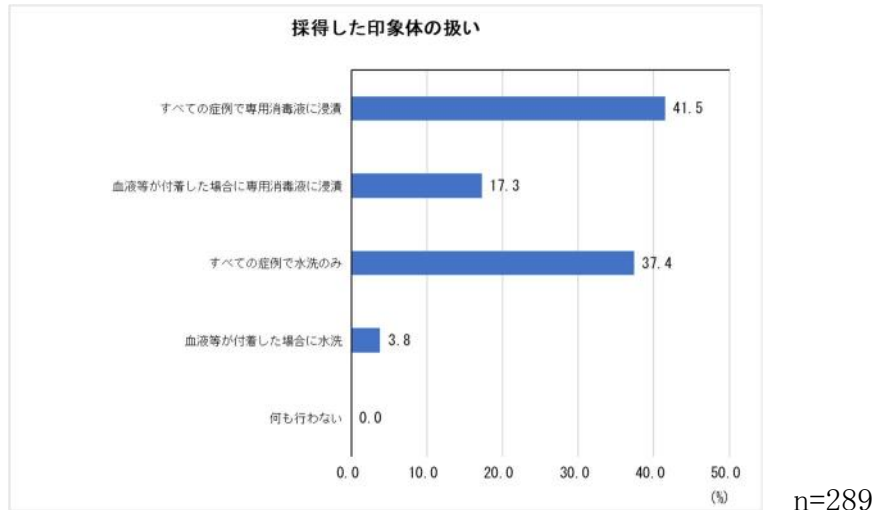
	毎回使用	定期的に使用	ほとんど使用なし	使用したことがない	計
30代以下	56.3	25.0	18.8	0.0	100.0
40代	53.8	29.2	12.3	4.6	100.0
50代	36.2	23.2	26.1	14.5	100.0
60代	28.9	18.4	30.3	22.4	100.0
70代以上	31.6	18.4	15.8	34.2	100.0
計	39.0	22.7	22.0	16.3	100.0

問 2 3 採得した印象体の扱いについて教えてください。(○はひとつ)

- 1 すべての症例で専用の消毒液に浸漬する（水洗も含む）
→使用している消毒薬（ ）
- 2 血液等が付着した場合に専用の消毒液に浸漬する（水洗も含む）
→使用している消毒薬（ ）
- 3 すべての症例で水洗のみを行う
- 4 血液等が付着した場合に水洗を行う
- 5 何も行わない

採得した印象体の扱いでは、「すべての症例で専用消毒液に浸漬」が 41.5%、次いで「すべての症例で水洗のみ」が 37.4%、「血液等が付着した場合に専用消毒液に浸漬」が 17.3%だった。また、「何も行わない」が 0.0%だった。

年齢階級別では、30 代以下が「すべての症例で水洗のみ」が 50.0%だった。



年齢階級別採得した印象体の扱い

(単位：%)

	すべての症例で専用消毒液に浸漬	血液等が付着した場合に専用消毒液に浸漬	すべての症例で水洗のみ	血液等が付着した場合に水洗	何も行わない	計
30代以下	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	100.0
40代	51.4	10.0	37.1	1.4	0.0	100.0
50代	45.3	24.0	28.0	2.7	0.0	100.0
60代	32.1	19.8	43.2	4.9	0.0	100.0
70代以上	42.6	10.6	38.3	8.5	0.0	100.0
計	41.5	17.3	37.4	3.8	0.0	100.0

すべての症例で専用消毒液に浸漬と回答した 120 の歯科診療所の中で、使用している消毒薬の割合が最も多かったのは、「塩素系」15.8%、次いで「次亜塩素酸水」10.0%、「第四級アンモニウム塩系」3.3%だった。また、未回答（すべての症例で専用消毒液に浸漬と回答のうち未記入者）が 60.8%だった。

すべての症例で専用消毒液に浸漬で使用している消毒薬

消毒薬の分離	件数	割合(%)
塩素系	19	15.8
次亜塩素酸水	12	10.0
第四級アンモニウム塩系	4	3.3
弱酸性水	2	1.7
両性界面活性剤	2	1.7
アルデヒド系	2	1.7
アルコール系	2	1.7
ビグアナイド系	1	0.8
その他（血液溶解洗浄剤）	3	2.5
未回答（すべての症例で専用消毒液に浸漬と回答のうち未記入者）	73	60.8
計	120	100.0

n=120

血液等が付着した場合に専用消毒液に浸漬と回答した 50 の歯科診療所の中で、使用している消毒薬の割合が最も多かったのは、「次亜塩素酸水」14.0%、次いで「アルデヒド系」12.0%、「塩素系」8.0%だった。また、未回答（血液等が付着した場合に専用消毒液に浸漬と回答のうち未記入者）が 58.0%だった。

血液等が付着した場合に専用消毒液に浸漬で使用している消毒薬

消毒薬の分離	件数	割合(%)
次亜塩素酸水	7	14.0
アルデヒド系	6	12.0
塩素系	4	8.0
第四級アンモニウム塩系	1	2.0
酸化剤系	1	2.0
その他	2	4.0
未回答（血液等が付着した場合に専用消毒液に浸漬と回答のうち未記入者）	29	58.0
計	50	100.0

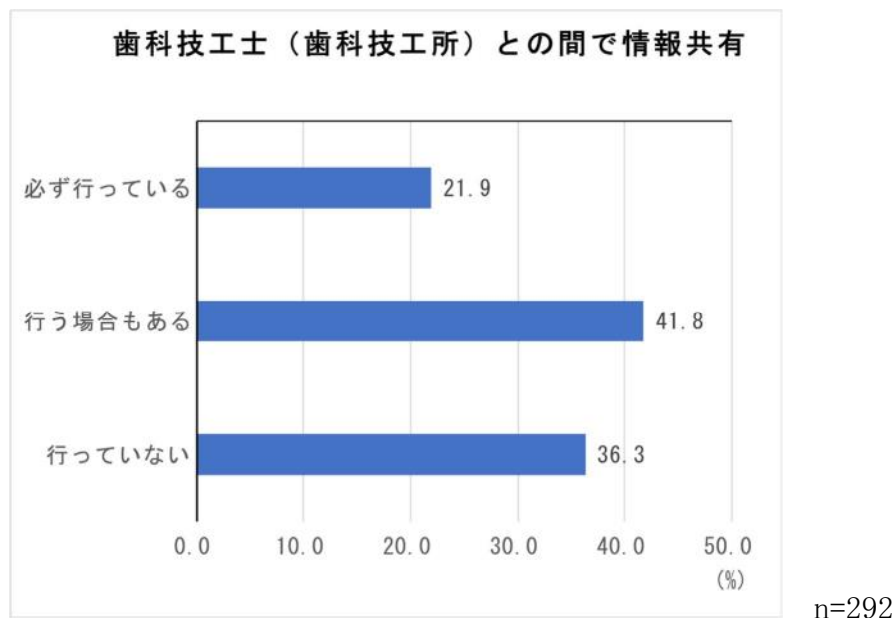
n=50

問 2 4 歯科技工士（歯科技工所）との間で、印象体や技工物の消毒方法等に関して情報共有を行っていますか。（○はひとつ）

- 1 必ず行っている
- 2 行う場合もある
- 3 行っていない

歯科技工士（歯科技工所）との間で、印象体や技工物の消毒方法等に関して情報共有では、「行う場合もある」が最も多く 41.8%、次いで「行っていない」が 36.3%、「必ず行っている」が 21.9%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「行っていない」の割合が増加傾向だった。



年齢階級別歯科技工士（歯科技工所）との間で情報共有（単位：％）

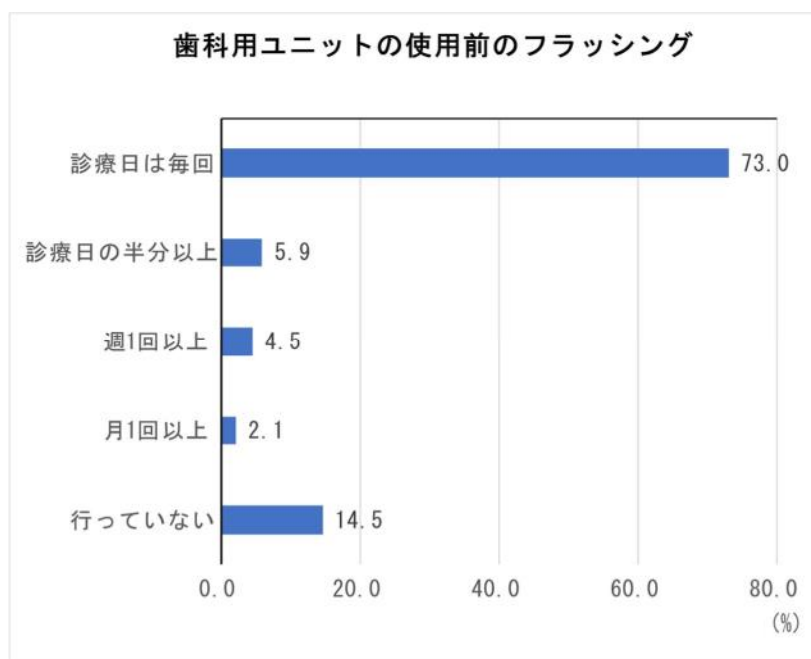
	必ず行っている	行う場合もある	行っていない	計
30代以下	35.3	47.1	17.6	100.0
40代	27.1	41.4	31.4	100.0
50代	21.1	39.5	39.5	100.0
60代	17.1	42.7	40.2	100.0
70代以上	19.1	42.6	38.3	100.0
計	21.9	41.8	36.3	100.0

問 2 5 歯科用ユニットの使用前にフラッシング（残留水排出）を行っていますか。（○はひとつ）

- 1 診療日は毎回行っている
- 2 診療日の半分以上は行っている
- 3 週 1 回以上行っている
- 4 月 1 回以上行っている
- 5 行っていない

歯科用ユニットの使用前にフラッシング（残留水排出）を行っているでは、「診療日は毎回」が最も多く 73.0%、「行っていない」が 14.5%、「診療日の半分以上」が 5.9%、「週 1 回以上」が 4.5%、「月 1 回以上」が 2.1%だった。

管理者の年齢階級別でみると、30 代以下以外の年齢では「行っていない」の割合が 1 割を超えていた。



年齢階級別歯科用ユニットの使用前のフラッシング

(単位：%)

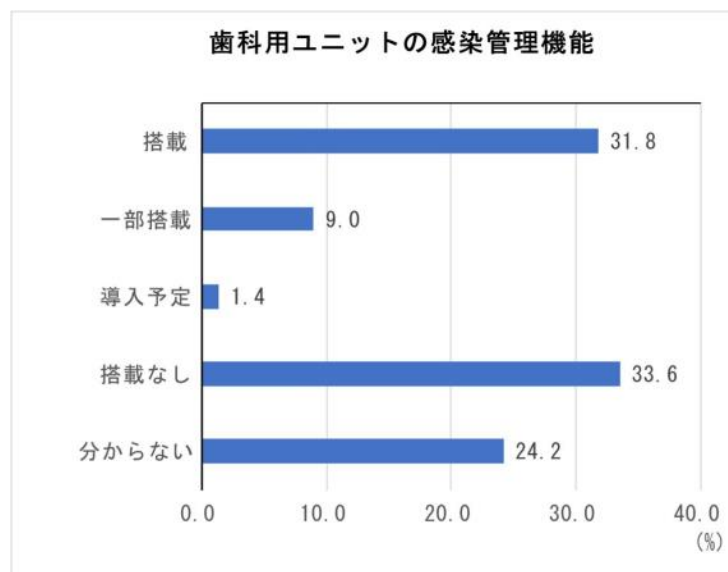
	診療日は毎回	診療日の半分以上	週1回以上	月1回以上	行っていない	計
30代以下	70.6	11.8	0.0	11.8	5.9	100.0
40代	64.3	8.6	5.7	1.4	20.0	100.0
50代	78.9	3.9	3.9	0.0	13.2	100.0
60代	71.3	5.0	7.5	1.3	15.0	100.0
70代以上	80.4	4.3	0.0	4.3	10.9	100.0
計	73.0	5.9	4.5	2.1	14.5	100.0

問 2 6 歯科用ユニットにユニット水（歯科用ユニット内を流れる水）の感染管理機能（消毒薬等による洗浄機能など）が搭載されていますか。（○はひとつ）

- 1 搭載されている
- 2 一部搭載されている
- 3 導入予定である
- 4 搭載されていない
- 5 分からない

歯科用ユニットにユニット水（歯科用ユニット内を流れる水）の感染管理機能（消毒薬等による洗浄機能など）が搭載では、「搭載なし」が最も多く 33.6%、次いで「搭載」が 31.8%、「分からない」が 24.2%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢で「搭載」の割合が 2～3 割程度だった。



n=289

年齢階級別歯科用ユニットの感染管理機能

(単位：%)

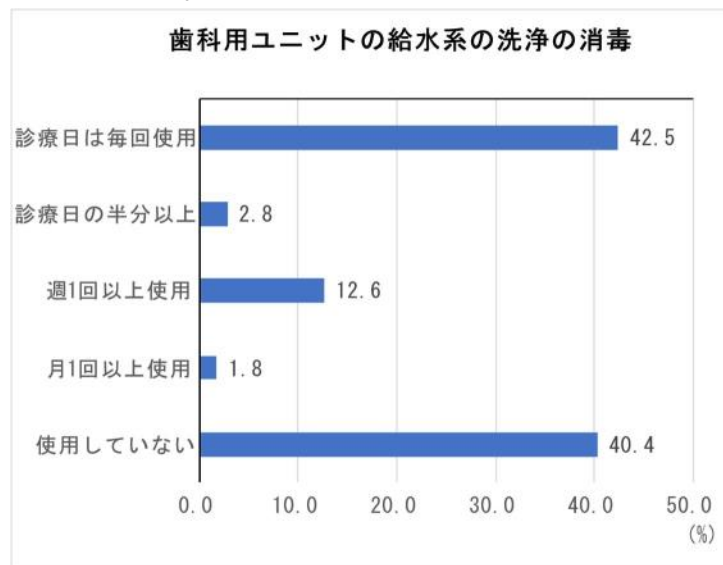
	搭載	一部搭載	導入予定	搭載なし	分からない	計
30代以下	23.5	11.8	11.8	29.4	23.5	100.0
40代	35.7	12.9	0.0	25.7	25.7	100.0
50代	32.0	9.3	1.3	38.7	18.7	100.0
60代	33.8	6.3	1.3	32.5	26.3	100.0
70代以上	25.5	6.4	0.0	40.4	27.7	100.0
計	31.8	9.0	1.4	33.6	24.2	100.0

問 2 7 歯科用ユニットの給水系の洗浄に消毒薬を使用していますか。(○はひとつ)

- 1 診療日は毎回使用している
→使用している消毒薬 ()
- 2 診療日の半分以上は行っている
→使用している消毒薬 ()
- 3 週 1 回以上使用している
- 4 月 1 回以上使用している
- 5 使用していない

歯科用ユニットの給水系の洗浄に消毒薬を使用では、「診療日は毎回使用」がもっと多く 42.5%、「週 1 回以上使用」が 12.6%、「診療日の半分以上」が 2.8%、「月 1 回以上使用」が 1.8%だった。また、「使用していない」が 40.4%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「診療日は毎回使用」の割合が減少傾向だった。



n=285

年齢階級別歯科用ユニットの給水系の洗浄の消毒

(単位: %)

	診療日は毎回使用	診療日の半分以上	週1回以上使用	月1回以上使用	使用していない	計
30代以下	47.1	5.9	5.9	0.0	41.2	100.0
40代	59.4	2.9	8.7	1.4	27.5	100.0
50代	44.0	4.0	5.3	1.3	45.3	100.0
60代	32.5	1.3	22.5	2.5	41.3	100.0
70代以上	29.5	2.3	15.9	2.3	50.0	100.0
計	42.5	2.8	12.6	1.8	40.4	100.0

診療日は毎回使用と回答した 121 の歯科診療所の中で、使用している消毒剤の割合が最も多かったのは、「第四級アンモニウム塩系」14.9%、次いで「次亜塩素酸水」9.9%だった。また、未回答（診療日は毎回使用と回答のうち未記入者）が 52.1%だった。

診療日は毎回使用で使用している消毒薬

消毒薬の分離	件数	割合(%)
第四級アンモニウム塩系	18	14.9
次亜塩素酸水	12	9.9
酸化剤系	5	4.1
両性界面活性剤	5	4.1
フェノール系	4	3.3
塩素系	4	3.3
アルコール系	1	0.8
アルデヒド系	1	0.8
分類不明	8	6.6
未回答（診療日は毎回使用と回答のうち未記入者）	63	52.1
計	121	100.0

n=121

診療日の半分以上と回答した 8 の歯科診療所の中で、使用している消毒薬の割合が最も多かったのは、「両性界面活性剤」25.0%だった。また、未回答（診療日の半分以上と回答のうち未記入者）が 25.0%だった。

診療日の半分以上で使用している消毒薬

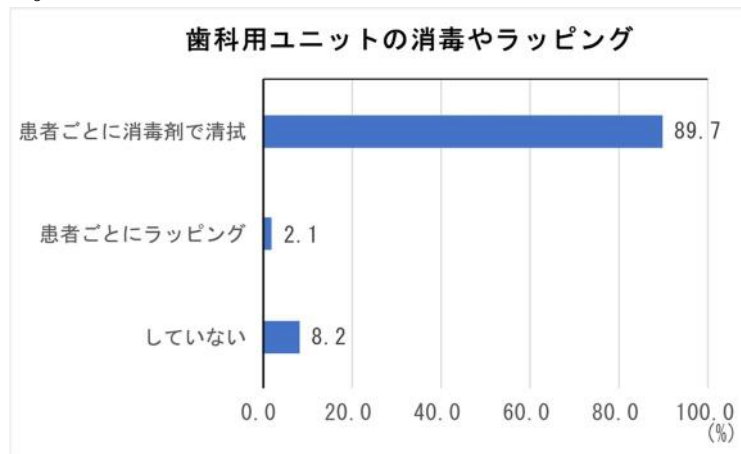
消毒薬の分離	件数	割合(%)
両性界面活性剤	2	25.0
第四級アンモニウム塩系	1	12.5
酸化剤系	1	12.5
その他	2	25.0
未回答（診療日の半分以上と回答のうち未記入者）	2	25.0
計	8	100.0

問 2 8 歯科用ユニットを患者ごとに消毒剤で清拭、またはラッピングをしていますか。(〇はひとつ)

- 1 患者ごとに消毒剤で清拭している
- 2 患者ごとにラッピングしている
- 3 患者ごとに消毒剤で清拭、またはラッピングをしてしていない

歯科用ユニットを患者ごとに消毒剤で清拭、またはラッピングでは、「患者ごとに消毒剤で清拭」が 89.7%、「患者ごとにラッピング」が 2.1%だった。また、「していない」が 8.2%だった。

管理者の年齢階級別でみると、60代で「していない」が 14.8%と他の年齢より高かった。



n=291

年齢階級別歯科用ユニットの消毒やラッピング (単位：%)

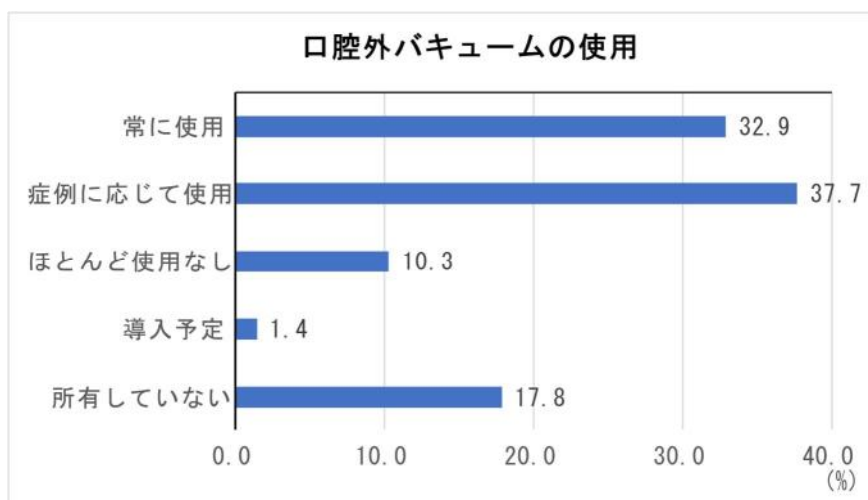
	患者ごとに消毒剤で清拭	患者ごとにラッピング	していない	計
30代以下	88.2	5.9	5.9	100.0
40代	92.9	4.3	2.9	100.0
50代	89.5	1.3	9.2	100.0
60代	85.2	0.0	14.8	100.0
70代以上	93.6	2.1	4.3	100.0
計	89.7	2.1	8.2	100.0

問 2 9 歯の切削、義歯の切削、超音波スケーラー等の使用に際し、口腔外バキュームを使用していますか。(〇はひとつ)

- 1 常に使用している
- 2 症例に応じて使用している
- 3 ほとんど使用していない
- 4 所有していないが、導入予定である
- 5 所有していない

歯の切削、義歯の切削、超音波スケーラー等の使用に際し、口腔外バキュームを使用では、「症例に応じて使用」が最も多く 37.7%、次いで「常に使用」が 32.9%、「ほとんど使用なし」が 10.3%だった。また、「所有していない」が 17.8%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「所有していない」の割合が増加していた。



n=292

年齢階級別口腔外バキュームの使用

(単位: %)

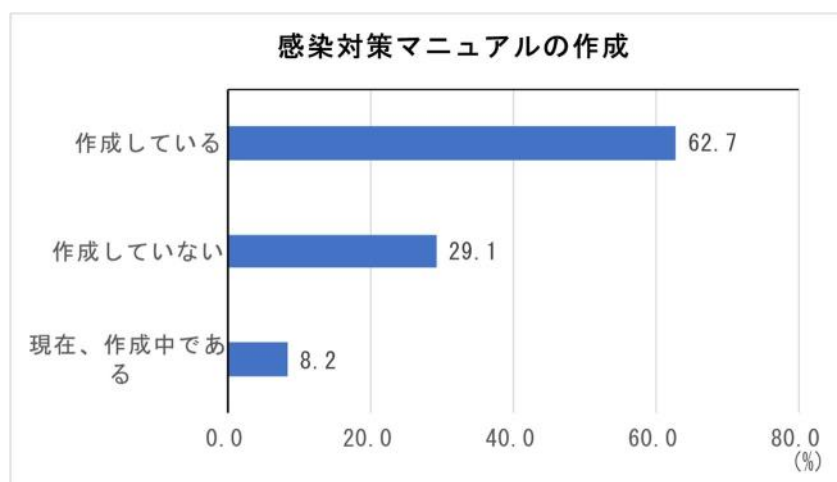
	常に使用	症例に応じて使用	ほとんど使用なし	導入予定	所有していない	計
30代以下	35.3	52.9	11.8	0.0	0.0	100.0
40代	32.9	41.4	12.9	1.4	11.4	100.0
50代	31.6	46.1	9.2	1.3	11.8	100.0
60代	39.5	25.9	12.3	1.2	21.0	100.0
70代以上	22.9	33.3	4.2	2.1	37.5	100.0
計	32.9	37.7	10.3	1.4	17.8	100.0

問 30 貴院では、感染対策マニュアルを作成していますか。(○はひとつ)

- 1 作成している
- 2 作成していない
- 3 現在、作成中である

感染対策マニュアルを作成では、「作成している」が 62.7%に対し、「作成していない」が 29.1%、また、「現在、作成中である」が 8.2%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「作成している」の割合が減少傾向だった。



年齢階級別感染対策マニュアルの作成

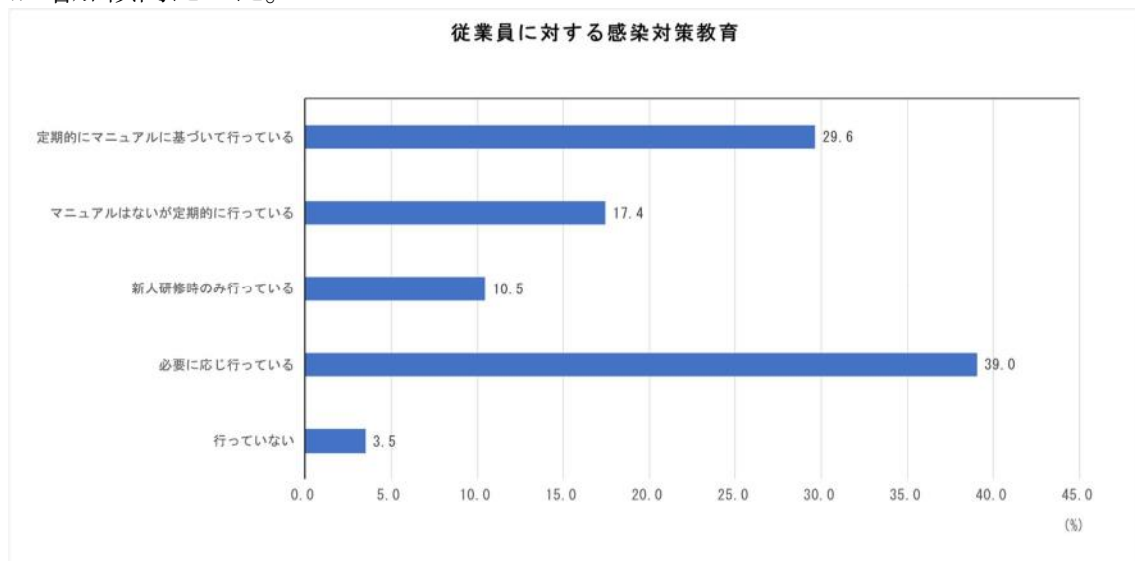
(単位：%)

	作成している	作成していない	現在、作成中である	計
30代以下	88.2	0.0	11.8	100.0
40代	70.0	20.0	10.0	100.0
50代	64.5	30.3	5.3	100.0
60代	51.9	39.5	8.6	100.0
70代以上	58.3	33.3	8.3	100.0
計	62.7	29.1	8.2	100.0

- 問 3 1 従業員に対する感染対策教育を行っていますか。(○はひとつ)
 また、「1 定期的にマニュアルに基づいて行っている」または「2 マニュアルはないが定期的に行っている」にお答えの方は、()に1年間の教育回数を記入してください。
- 1 定期的にマニュアルに基づいて行っている (回/年)
 - 2 マニュアルはないが定期的に行っている (回/年)
 - 3 新人研修時のみ行っている
 - 4 必要に応じ行っている
 - 5 行っていない

従業員に対する感染対策教育では、「必要に応じ行っている」が最も多く 39.0%、「定期的にマニュアルに基づいて行っている」が 29.6%、「マニュアルはないが定期的に行っている」が 17.4%、「新人研修時のみ行っている」が 10.5%だった。また、「行っていない」が 3.5%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「行っていない」の割合が増加傾向だった。



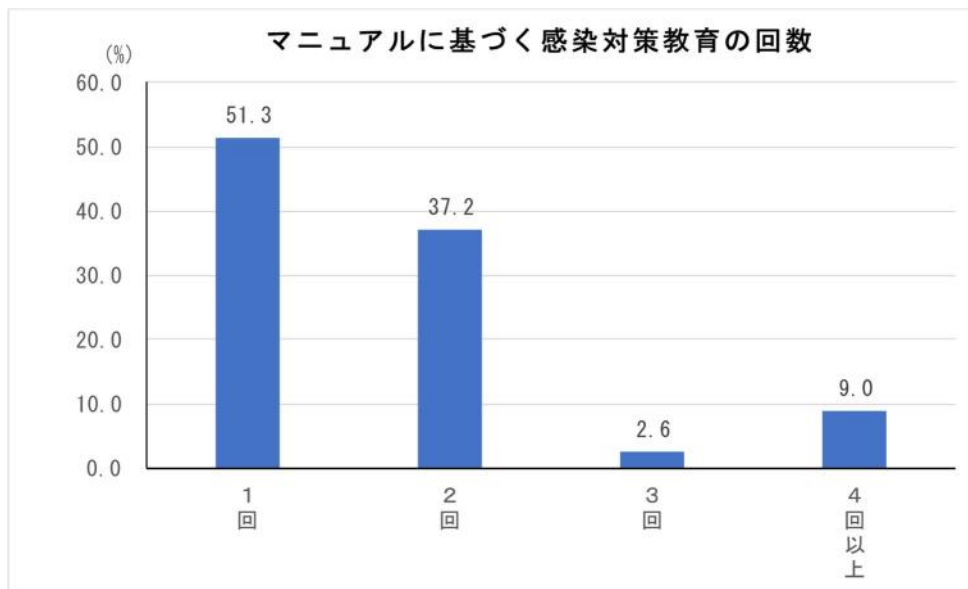
n=287

年齢階級別従業員に対する感染対策教育 (単位: %)

	定期的にマニュアルに基づいて行っている	マニュアルはないが定期的に行っている	新人研修時のみ行っている	必要に応じ行っている	行っていない	計
30代以下	17.6	11.8	23.5	47.1	0.0	100.0
40代	32.9	20.0	14.3	30.0	2.9	100.0
50代	36.0	14.7	12.0	34.7	2.7	100.0
60代	22.2	18.5	7.4	48.1	3.7	100.0
70代以上	31.8	18.2	2.3	40.9	6.8	100.0
計	29.6	17.4	10.5	39.0	3.5	100.0

(1) マニュアルに基づく感染対策教育の回数

「定期的にマニュアルに基づいて行っている」と回答し、1年間の教育回数を記入した中で、「1回」が51.3%と最も多く、次いで「2回」が37.2%だった。



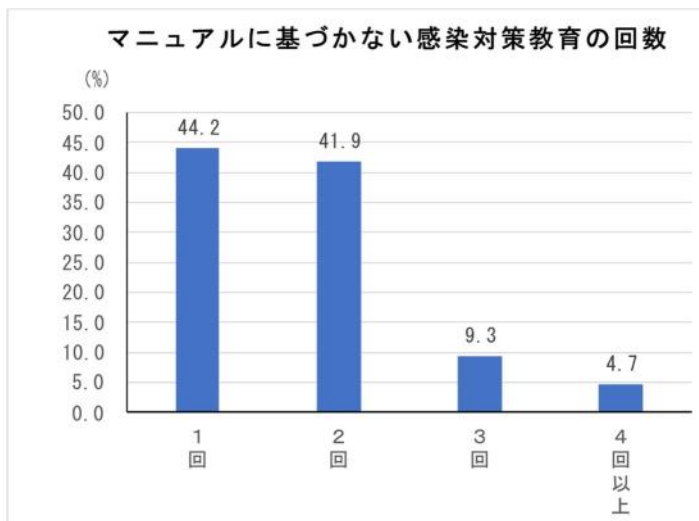
n=78

年齢階級別マニュアルに基づく感染対策教育の回数 (単位: %)

	1回	2回	3回	4回以上	計
30代以下	33.3	33.3	0.0	33.3	100.0
40代	68.2	27.3	4.5	0.0	100.0
50代	57.7	30.8	0.0	11.5	100.0
60代	43.8	37.5	6.3	12.5	100.0
70代以上	18.2	72.7	0.0	9.1	100.0
計	51.3	37.2	2.6	9.0	100.0

(2) マニュアルに基づかない感染対策教育の回数

「マニュアルはないが定期的に行っている」と回答し、1年間の教育回数を記入した中で、「1回」が44.2%と最も多く、次いで「2回」が41.9%だった。



n=43

年齢階級別マニュアルに基づかない感染対策教育の回数 (単位: %)

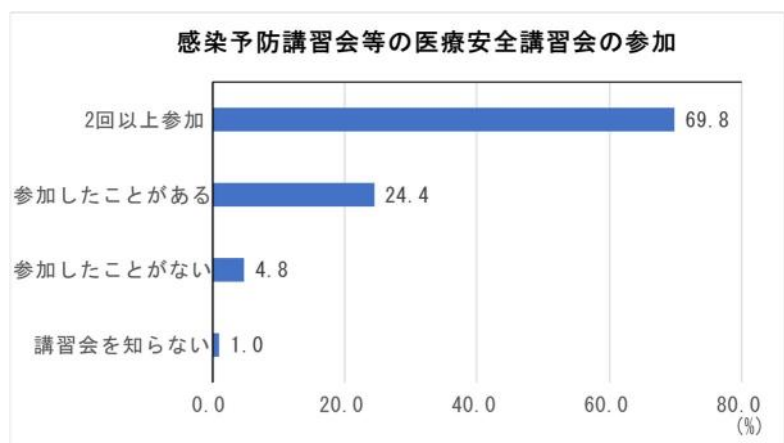
	1回	2回	3回	4回以上	計
30代以下	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
40代	41.7	41.7	8.3	8.3	100.0
50代	45.5	27.3	18.2	9.1	100.0
60代	33.3	58.3	8.3	0.0	100.0
70代以上	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0
計	44.2	41.9	9.3	4.7	100.0

問 3 2 感染予防講習会等の医療安全講習会に参加したことがありますか。(○はひとつ)

- 1 2 回以上参加したことがある
- 2 参加したことがある
- 3 参加したことがない
- 4 講習会を知らない

感染予防講習会等の医療安全講習会に参加では、「2 回以上参加」が最も多く 69.8%、「参加したことがある」が 24.4%、「参加したことがない」が 4.8%だった。また、「講習会を知らない」が 1.0%だった。

管理者の年齢階級別でみると、30代以下と 70代以上で「参加したことがない」の割合が 1 割程度だった。



n=291

年齢階級別感染予防講習会等の医療安全講習会の参加

(単位：%)

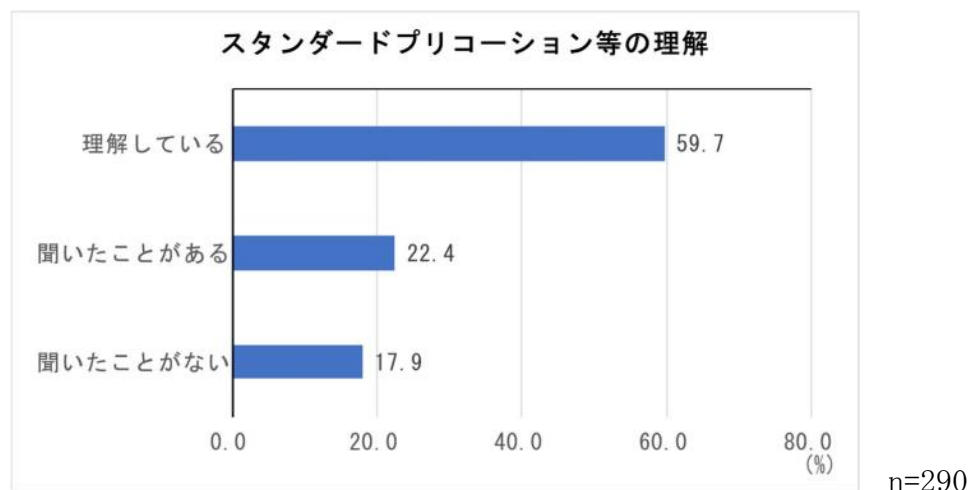
	2回以上参加	参加したことがある	参加したことがない	講習会を知らない	計
30代以下	52.9	35.3	11.8	0.0	100.0
40代	66.7	29.0	2.9	1.4	100.0
50代	80.0	17.3	2.7	0.0	100.0
60代	74.4	20.7	2.4	2.4	100.0
70代以上	56.3	31.3	12.5	0.0	100.0
計	69.8	24.4	4.8	1.0	100.0

問 3 3 スタンダードプリコーション又はユニバーサルプリコーションとは何かを知っていますか。(○はひとつ)

- 1 理解している
- 2 聞いたことがある
- 3 聞いたことがない

スタンダードプリコーション又はユニバーサルプリコーションとは何かを知っているかでは、「理解している」が 59.7%、「聞いたことがある」が 22.4%、「聞いたことがない」が 17.9%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「理解している」の割合が減少傾向だった。



年齢階級別スタンダードプリコーション等の理解

(単位：%)

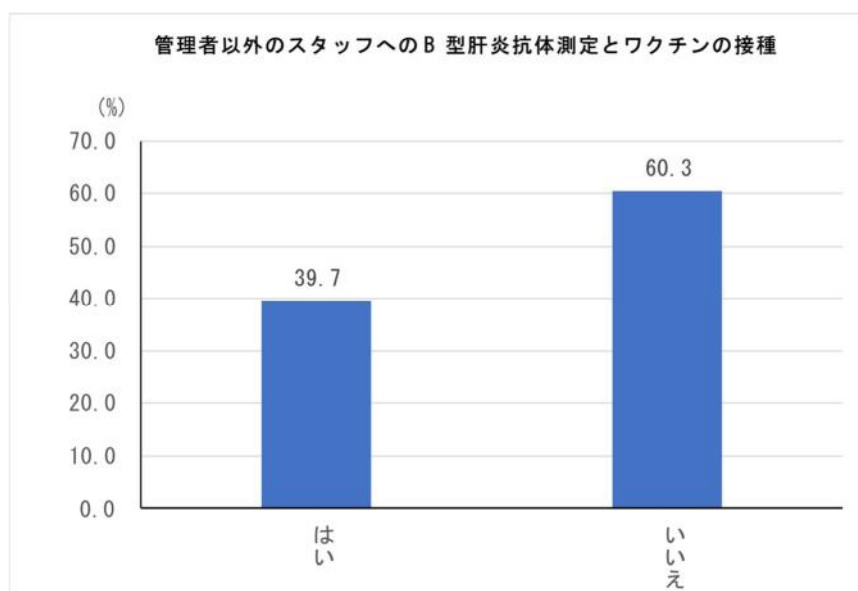
	理解している	聞いたことがある	聞いたことがない	計
30代以下	94.1	0.0	5.9	100.0
40代	80.0	12.9	7.1	100.0
50代	54.7	29.3	16.0	100.0
60代	45.8	28.9	25.3	100.0
70代以上	48.9	22.2	28.9	100.0
計	59.7	22.4	17.9	100.0

問 3 4 管理者以外のスタッフには、B 型肝炎抗体の測定を受けさせ、陰性の場合、ワクチンの接種を受けさせていますか。(○はひとつ)

- 1 はい
- 2 いいえ

管理者以外のスタッフには、B 型肝炎抗体の測定を受けさせ、陰性の場合、ワクチンの接種を受けさせているかでは、「はい」が 39.7%に対し、「いいえ」が 60.3%であった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「はい」の割合が減少傾向だった。



年齢階級別管理者以外のスタッフへのB型肝炎抗体測定とワクチンの接種

(単位：%)

	はい	いいえ	計
30代以下	58.8	41.2	100.0
40代	41.4	58.6	100.0
50代	49.3	50.7	100.0
60代	34.9	65.1	100.0
70代以上	22.2	77.8	100.0
計	39.7	60.3	100.0

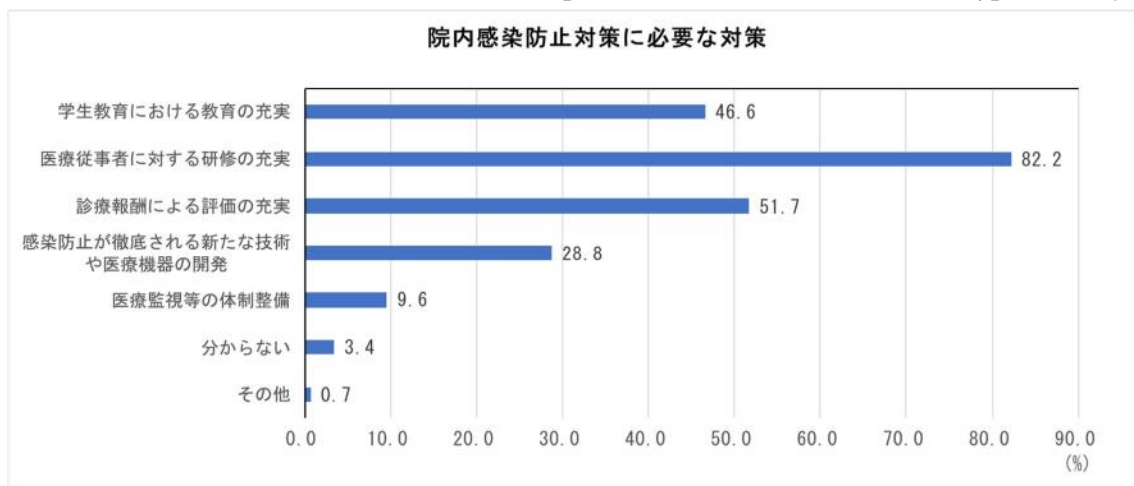
問 3 5 院内感染防止対策に必要な対策は何であると思いますか。(複数選択可)

- 1 学生教育における教育の充実
- 2 医療従事者に対する研修の充実
- 3 診療報酬による評価の充実
- 4 感染防止が徹底される新たな技術や医療機器の開発
- 5 医療監視等の体制整備
- 6 分からない
- 7 その他 ()

院内感染防止対策に必要な対策は何であると思うかでは、「医療従事者に対する研修の充実」が最も多く 82.2%、次いで「診療報酬による評価の充実」が 51.7%、「学生教育における教育の充実」が 46.6%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢において「医療従事者に対する研修の充実」の割合が最も多かった。

その他の具体的な回答は、「日々勉強」、「個々のハイリスクの理解」だった。



n=292

年齢階級別院内感染防止対策に必要な対策

(単位: %)

	学生教育における教育の充実	医療従事者に対する研修の充実	診療報酬による評価の充実	感染防止が徹底される新たな技術や医療機器の開発	医療監視等の体制整備	分からない	その他
30代以下	35.3	82.4	47.1	17.6	5.9	5.9	0.0
40代	51.4	84.3	54.3	27.1	11.4	0.0	1.4
50代	50.0	79.7	56.8	32.4	12.2	2.7	1.4
60代	49.4	81.9	54.2	30.1	7.2	3.6	0.0
70代以上	33.3	83.3	37.5	27.1	8.3	8.3	0.0
計	46.6	82.2	51.7	28.8	9.6	3.4	0.7

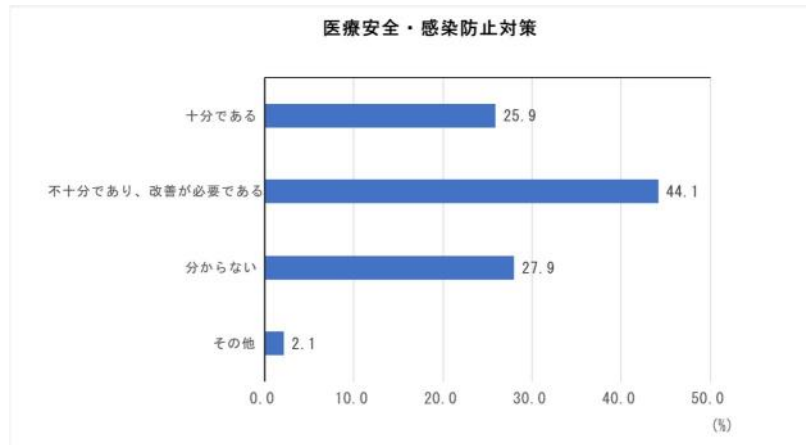
問 3 6 歯科医療機関全体における医療安全・感染防止対策をどう思いますか。
(○はひとつ)

- 1 十分である
- 2 不十分であり、改善が必要である
- 3 分からない
- 4 その他 ()

歯科医療機関全体における医療安全・感染防止対策をどう思うかでは、「不十分であり、改善が必要である」が最も多く 44.1%、次に「分からない」が 27.9%、「十分である」が 25.9%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢において「不十分であり、改善が必要である」の割合が最も多かった。

その他の具体的な回答は、「医科より報酬が少ないので、同評価にしてほしい」、「歯科医師の間の意識の差を感じる」、「多くの歯科医院はあまりにも対策していない。また、教育機関（大学病院も含めて）十分でない」、「感染防止対策を極めることは難しい」、「歯科医院によってバラつきがある」だった。



n=290

年齢階級別医療安全・感染防止対策

(単位：%)

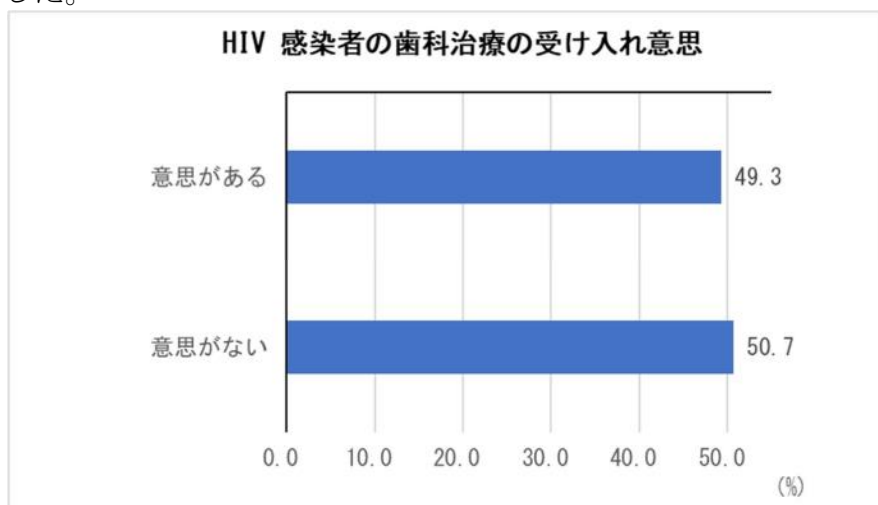
	十分である	不十分であり、改善が必要である	分からない	その他	計
30代以下	29.4	47.1	23.5	0.0	100.0
40代	32.9	41.4	22.9	2.9	100.0
50代	24.0	46.7	26.7	2.7	100.0
60代	23.2	41.5	34.1	1.2	100.0
70代以上	21.7	47.8	28.3	2.2	100.0
計	25.9	44.1	27.9	2.1	100.0

問 3 7 貴施設で HIV 感染者の歯科治療を受け入れる意思がありますか。(○はひとつ)

- 1 意思がある
- 2 意思がない

HIV 感染者の歯科治療を受け入れる意思では、「意思がある」が 49.3%、「意思がない」が 50.7%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「意思がある」の割合が減少した。



n=284

年齢階級別 HIV 感染者の歯科治療の受け入れ意思 (単位: %)

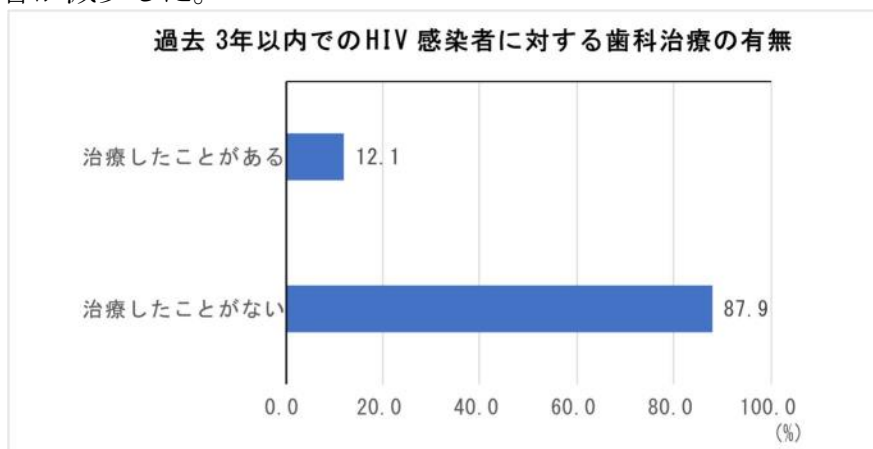
	意思がある	意思がない	計
30代以下	70.6	29.4	100.0
40代	67.2	32.8	100.0
50代	48.6	51.4	100.0
60代	38.3	61.7	100.0
70代以上	35.6	64.4	100.0
計	49.3	50.7	100.0

問 3 8 貴施設で過去 3 年以内に HIV 感染者の歯科治療をしたことがありますか。(○はひとつ)

- 1 治療したことがある 2 治療したことがない

過去 3 年以内に HIV 感染者の歯科治療は、「治療したことがある」が 12.1%、「治療したことがない」が 87.9%だった。

管理者の年齢階級別でみると、年齢が高くなるにつれ「治療したことがある」の割合が減少した。



n=290

年齢階級別過去 3 年以内での HIV 感染者に対する歯科治療の有無

(単位：%)

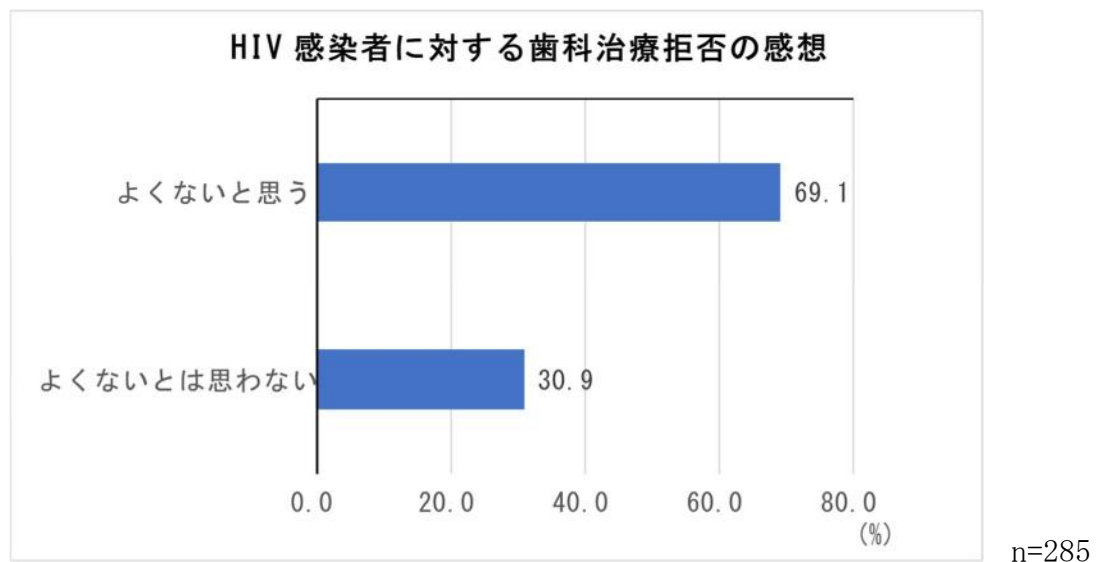
	治療したことがある	治療したことがない	計
30代以下	41.2	58.8	100.0
40代	13.0	87.0	100.0
50代	12.0	88.0	100.0
60代	8.4	91.6	100.0
70代以上	6.5	93.5	100.0
計	12.1	87.9	100.0

問 3 9 HIV 感染者の歯科治療を拒否することはモラル的によくないと思いますか。(○はひとつ)

- 1 よくないと思う
- 2 よくないとは思わない

HIV 感染者の歯科治療を拒否することはモラル的によくないと思うかでは、「よくないと思う」が 69.1%、「よくないとは思わない」が 30.9%だった。

管理者の年齢階級別でみると、すべての年齢で「よくないとは思わない」の割合が 3 割程度だった。



年齢階級別 HIV 感染者に対する歯科治療拒否の感想 (単位: %)

	よくないと思う	よくないとは思わない	計
30代以下	64.7	35.3	100.0
40代	76.5	23.5	100.0
50代	64.9	35.1	100.0
60代	66.3	33.7	100.0
70代以上	72.1	27.9	100.0
計	69.1	30.9	100.0

歯科診療と感染対策についての御意見、御感想をご記入ください。

意見、感想を「診療報酬（コスト）」、「人員」、「教育」、「歯科器具」、「設問が不適」、「HIV 歯科診療」、「その他」で分類したところ、「診療報酬（コスト）」が 8.3%、次いで「設問が不適」が 6.3%だった。

「診療報酬（コスト）」の主な具体的な記述は、「理想を追いみたいと思いつつ、コストが気になる」、「物価高騰で非常に厳しい」などである。

「人員」の主な具体的な記述は、「人手が不足している。歯科診療所が魅力ある職場にしなければ」などである。

「教育」の主な具体的な記述は、「歯科医師のみでなく、歯科衛生士、歯科助手との感染対策の共通認識が必要」などである。

「歯科器具」の主な具体的な記述は、「オートクレーブに医療器具を毎回かけると医療機器の劣化スピードが速くなってしまう」などである。

「設問が不適」の主な具体的な記述は、「矯正歯科のみしか行っていないので、問 18 のリーマーやファイルの扱いの回答を選べなかった」、「問 22 のインジケーターの意味が根管長測定なのかわからない」、「従業員がいないので問 31 や問 34 に回答できなかった」などである。

「HIV 歯科診療」の主な具体的な記述は、「HIV 感染者は受け入れ体制の整った大きな病院へ行くべき」などである。

「その他」の主な具体的な記述は、「調査票が届き回答をしながら改めて感染予防対策の重要性を認識した」などである。

意見、感想の概要

	診療報酬 (コスト)	人員	教育	歯科器具	設問が不適	HIV 歯科診療	その他
人数 (人)	25	7	2	4	19	12	22
割合 (%)	8.3	2.3	0.7	1.3	6.3	4.0	7.3

n=302

歯科診療所の院内感染対策の現状と課題を把握するための調査 (お願い)

千葉県衛生研究所では、本年度、歯科診療所の院内感染対策の現状と課題を把握し、歯科診療所の院内感染対策の支援を行うことを目的とする調査研究を行います。

調査をお願いする歯科診療所は、令和4年6月1日現在の千葉県歯科診療所名簿から無作為で抽出させていただいた県内に所在する歯科診療所の800か所です。

調査は、管理者が回答を調査票に御記入いただき、同封の封筒（切手は不要です）を御返送いただく方法です。封筒に、住所やお名前を書かないで返送してください。

なお、調査はすべて無記名で行い、統計的に処理しますので、集計結果等の公表等で回答者に御迷惑をおかけすることは一切ありません。また、回答いただいた調査票は、本調査の目的以外に使用することは一切ありません。調査施設の個人情報や調査票は個人情報保護に関する法令に従って厳格に管理し、本調査に対する学会発表や論文公表後、裁断・消去処分いたします。

この調査結果は、関係団体の代表者、学識経験者及び関係行政機関で構成する「歯科診療所院内感染対策検討会議」の御意見を聞きながら、結果等から課題を分析し、課題解決のためのマニュアル（提言・助言等）を作成するなどします。回答に御協力をお願い申し上げます。

千葉県衛生研究所

お手数ですが、令和6年2月16日（金）までにご投函ください。（切手は不要です）

◎調査結果、マニュアル（提言・助言等）等は千葉県衛生研究所のホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/index.html> で公表します。

◎御不明の点がございましたら、下記までお問合せください。

〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2

千葉県衛生研究所 健康疫学研究室 吉森

TEL: 043-266-7989 FAX: 043-265-5544

E-mail: k.yshmr@pref.chiba.lg.jp

歯科診療所の院内感染対策の現状と課題を把握するための調査 調査票

本調査に御協力をいただける場合、御回答の前に必ず下記にチェックを入れた上で、各質問へ御回答をお願いいたします。

御同意いただけない場合は、本調査への御回答及び御返信は不要です。

☐ **本調査の目的を理解し、研究参加に同意します。**

(御記入上のお願い)

- 管理者が貴施設の状況等について回答を記入してください。
- お名前や御住所を記入する必要はありません。
- 御記入は、黒か青のボールペン又はサインペンをお使いください。
- お答えは、あてはまるものの番号に○をつけるか、()に御記入してください。
- 特に注意書きのない場合は、令和6年1月1日時点での状況を御回答ください。

設問1 貴施設の概要について（令和6年1月1日現在で御回答ください）

問1 開設主体を教えてください。（○はひとつ）

- 1 個人 2 医療法人 3 その他

問2 管理者の年齢を教えてください。（○はひとつ）

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代 5 60代
6 70代以上

問3 貴施設が歯科診療を開始した時期はいつですか。（○はひとつ）

- 1 20年以上前 2 6～19年前 3 1～5年前 4 1年以内

問4 標榜診療科を教えてください。（複数選択可）

- 1 歯科 2 小児歯科 3 矯正歯科 4 歯科口腔外科

問5 貴施設に在籍する広告が可能な専門医を教えてください。(複数選択可)

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1 口腔外科専門医 | 2 歯周病専門医 | 3 歯科麻酔専門医 |
| 4 小児歯科専門医 | 5 歯科放射線専門医 | 6 補綴歯科専門医 |
| 7 なし | | |

問6 従事者数を記入してください。

歯科医師(管理者を含む)	常勤()人	非常勤()人
歯科衛生士	常勤()人	非常勤()人
歯科技工士	常勤()人	非常勤()人
歯科助手	常勤()人	非常勤()人
事務	常勤()人	非常勤()人
その他	常勤()人	非常勤()人

問7 1日の平均的な患者数を記入してください。()人

問8 歯科ユニット数を記入してください。()台

問9 所持しているハンドピースの本数を記入してください。

エアタービン()本	コントラアングル()本
ストレート()本	

問10 臨床研修施設の指定状況を教えてください。(複数選択可)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 単独型臨床研修施設 | 2 管理型臨床研修施設 |
| 3 協力型臨床研修施設 | 4 連携型臨床研修施設 |
| 5 研修協力施設 | 6 指定なし |

問11 診療報酬で歯初診の算定をしていますか。(歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準)

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

設問 2 貴施設の医療安全や感染管理等について伺います。

問 1 2 診療時の手袋の使用について教えてください。(○はひとつ)

- 1 すべての症例に使用し、患者毎に交換している
- 2 すべての症例に使用しているが、患者毎に交換しているわけではない
- 3 症例に応じて使用し、患者毎に交換している
- 4 症例に応じて使用しているが、患者毎に交換しているわけではない
- 5 手袋は使用していない

問 1 3 診療時に使用する手袋の種類について教えてください。(○はひとつ)

- 1 手術用手袋（滅菌済）のみ
- 2 手術用手袋（滅菌済）と医療用手袋（未滅菌）を症例により使い分けている
- 3 未滅菌医療用手袋のみ

問 1 4 診療以外の業務時（カルテ記載、PC 操作等）の手袋の扱いについて教えてください。(複数回答可)

- 1 手袋を外し他の業務を行う
- 2 速乾性手指消毒剤を用いて手袋を消毒し、手袋を外さず他の業務を行う
- 3 他の従業員に依頼する
- 4 状況に応じ、手袋を外し他の業務を行う
- 5 手袋を外さずに他の業務を行う

問 1 5 診療時、術者の个人防护用具（フェイスガード等）の装着について教えてください。(○はひとつ)

- 1 診療中は常時装着している
- 2 切削時の際は装着している
- 3 抜歯などの観血処置の際には装着している
- 4 問診等から感染症患者と分かった場合は装着している
- 5 装着していない

問 1 6 使用済みのハンドピースの扱いについて教えてください。(○はひとつ)

- 1 患者毎に交換し、滅菌を行う
- 2 問診等から感染症患者と分かった場合は交換、滅菌を行う
- 3 状況に応じて（血液が付着した場合等）交換、滅菌を行う
- 4 消毒薬を用いて清拭を行う
- 5 使い捨てのものを使用している
- 6 何も行わない
- 7 その他（ ）

問 1 7 使用済みの切削用ポイントやバーの扱いについて教えてください。(○はひとつ)

- 1 洗浄(超音波洗浄等)後、滅菌(オートクレーブ等)を行う
- 2 滅菌(オートクレーブ等)のみを行う
- 3 洗浄(超音波洗浄等)のみを行う
- 4 薬液消毒を行う
- 5 使い捨てのものを使用している
- 6 何も行わない

問 1 8 使用済みの根管治療用リーマーやファイルの扱いについて教えてください。(○はひとつ)

- 1 洗浄(超音波洗浄等)後、滅菌(オートクレーブ等)を行う
- 2 滅菌(オートクレーブ等)のみを行う
- 3 洗浄(超音波洗浄等)のみを行う
- 4 薬液消毒を行う
- 5 使い捨てのものを使用している
- 6 何も行わない

問 1 9 使用済みの超音波スケーラーチップの扱いについて教えてください。(○はひとつ)

- 1 洗浄(超音波洗浄等)後、滅菌(オートクレーブ等)を行う
- 2 滅菌(オートクレーブ等)のみを行う
- 3 洗浄(超音波洗浄等)のみを行う
- 4 薬液消毒を行う
- 5 何も行わない

問 2 0 使用済みの基本セット(デンタルミラー、ピンセット、バキュームチップ等)の扱いについて教えてください。(○はひとつ)

- 1 洗浄(超音波洗浄等)後、滅菌(オートクレーブ等)を行う
- 2 滅菌(オートクレーブ等)のみを行う
- 3 洗浄(超音波洗浄等)のみを行う
- 4 薬液消毒を行う
- 5 使い捨てのものを使用している
- 6 何も行わない

問 2 1 使っているオートクレーブのクラスを教えてください。(複数選択可)

- 1 クラスB
- 2 クラスS
- 3 クラスN
- 4 持っていない
- 5 わからない

問 2 2 インジケーターの使用頻度を教えてください。(○はひとつ)

- 1 毎回使用している
- 2 定期的に使用している
- 3 ほとんど使用なし
- 4 使用したことがない

問 2 3 採得した印象体の扱いについて教えてください。(○はひとつ)

- 1 すべての症例で専用の消毒液に浸漬する(水洗も含む)
→使用している消毒薬()
- 2 血液等が付着した場合に専用の消毒液に浸漬する(水洗も含む)
→使用している消毒薬()
- 3 すべての症例で水洗のみを行う
- 4 血液等が付着した場合に水洗を行う
- 5 何も行わない

問 2 4 歯科技工士(歯科技工所)との間で、印象体や技工物の消毒方法等に関して情報共有を行っていますか。(○はひとつ)

- 1 必ず行っている
- 2 行う場合もある
- 3 行っていない

問 2 5 歯科用ユニットの使用前にフラッシング(残留水排出)を行っていますか。(○はひとつ)

- 1 診療日は毎回行っている
- 2 診療日の半分以上は行っている
- 3 週1回以上行っている
- 4 月1回以上行っている
- 5 行っていない

問 2 6 歯科用ユニットにユニット水(歯科用ユニット内を流れる水)の感染管理機能(消毒薬等による洗浄機能など)が搭載されていますか。(○はひとつ)

- 1 搭載されている
- 2 一部搭載されている
- 3 導入予定である
- 4 搭載されていない
- 5 分からない

問27 歯科用ユニットの給水系の洗浄に消毒薬を使用していますか。(○はひとつ)

- 1 診療日は毎回使用している
→使用している消毒薬 ()
- 2 診療日の半分以上は行っている
→使用している消毒薬 ()
- 3 週1回以上使用している
- 4 月1回以上使用している
- 5 使用していない

問28 歯科用ユニットを患者ごとに消毒剤で清拭、またはラッピングをしていますか。(○はひとつ)

- 1 患者ごとに消毒剤で清拭している
- 2 患者ごとにラッピングしている
- 3 患者ごとに消毒剤で清拭、またはラッピングをしてしていない

問29 歯の切削、義歯の切削、超音波スケーラー等の使用に際し、口腔外バキュームを使用していますか。(○はひとつ)

- 1 常に使用している
- 2 症例に応じて使用している
- 3 ほとんど使用していない
- 4 所有していないが、導入予定である
- 5 所有していない

問30 貴院では、感染対策マニュアルを作成していますか。(○はひとつ)

- 1 作成している
- 2 作成していない
- 3 現在、作成中である

問31 従業員に対する感染対策教育を行っていますか。(○はひとつ)

また、「1 定期的にマニュアルに基づいて行っている」または「2 マニュアルはないが定期的に行っている」にお答えの方は、()に1年間の教育回数を記入してください。

- 1 定期的にマニュアルに基づいて行っている (回/年)
- 2 マニュアルはないが定期的に行っている (回/年)
- 3 新人研修時のみ行っている
- 4 必要に応じ行っている
- 5 行っていない

問3 2 感染予防講習会等の医療安全講習会に参加したことがありますか。(○はひとつ)

- 1 2回以上参加したことがある
- 2 参加したことがある
- 3 参加したことがない
- 4 講習会を知らない

設問3 感染防止対策に係る意識について伺います。

問3 3 スタンダードプリコーション又はユニバーサルプリコーションとは何かを知っていますか。(○はひとつ)

- 1 理解している
- 2 聞いたことがある
- 3 聞いたことがない

問3 4 管理者以外のスタッフには、B型肝炎抗体の測定を受けさせ、陰性の場合、ワクチンの接種を受けさせていますか。(○はひとつ)

- 1 はい
- 2 いいえ

問3 5 院内感染防止対策に必要な対策は何であると思いますか。(複数選択可)

- 1 学生教育における教育の充実
- 2 医療従事者に対する研修の充実
- 3 診療報酬による評価の充実
- 4 感染防止が徹底される新たな技術や医療機器の開発
- 5 医療監視等の体制整備
- 6 分からない
- 7 その他 ()

問3 6 歯科医療機関全体における医療安全・感染防止対策をどう思いますか。(○はひとつ)

- 1 十分である
- 2 不十分であり、改善が必要である
- 3 分からない
- 4 その他 ()

設問 4 HIV 感染者の歯科治療について伺います。

問 3 7 貴施設で HIV 感染者の歯科治療を受け入れる意思がありますか。(○はひとつ)

- 1 意思がある
- 2 意思がない

問 3 8 貴施設で過去 3 年以内に HIV 感染者の歯科治療をしたことがありますか。(○はひとつ)

- 1 治療したことがある
- 2 治療したことがない

問 3 9 HIV 感染者の歯科治療を拒否することはモラル的によくないと思いますか。(○はひとつ)

- 1 よくないと思う
- 2 よくないとは思わない

歯科診療と感染対策についての御意見、御感想をご記入ください。

御協力ありがとうございました。